

I 船員福祉の理念とその具体策に関する調査研究 (第4年度)

—「長期休暇」の生活行動の実態調査—

目 次

- A. 調査の目的と方法、有効資料……… 1
- B. 最近における休暇船員の生活……… 3

 - 時間の構成

- C. 休暇中船員の生活行動とその………… 4 3

 - 社会的拡がり

- D. 休暇生活についての意識・態度……… 5 1

A. 調査の目的と方法、有効資料

1. 調査の目的

船員福祉の理念とその具体策を検討するにあたって、船員の下船休暇の長期化は、その環境変化のなかできわめて重要なものである。われわれは、すでに1972年10月、1都3県居住中核6社船員および石川県富来町居住船員、1973年11月、阪神県・瀬戸内海県居住中核6社船員および全国的居住の内労協船員、1975年2月、大型カーフェリー船員について生活時間・生活行動調査を実施した。それら調査は、いわば短期休暇時代から「長期休暇」時代への過渡期における調査であったといえる。

その後、休暇制度をめぐりいろいろな状況変化もみられるが、それ自体としては「長期休暇」生活が定着しつつあるとみられる。そこで、前回調査の追試を行ない、「長期休暇」生活の定着が生活時間や生活行動のうえでどのように確

認できるかをあきらかにし、今後の船員福祉の具体策を検討するための資料とした。

2. 調査方法

a. 調査対象

「長期休暇」時代における最初の休暇生活調査である1972年調査にあわせて、調査対象を1都3県（東京、千葉、埼玉、神奈川）居住の中核6社船員および石川県富来町居住船員とした。

b. 調査内容

従来と同様な付表の調査表を使用し、生活行動とその時間（30分単位、7日間）、対人関係、行動領域、そして若干の休暇生活意識を調査した。

c. 調査表の配布と回収

1都3県居住者については、中核6社より予備員名簿を提出してもらい、郵送法で配布、止め置き、郵送法で回収した。石川県居住者については、富来町元船員係の協力をあおぎ、地域休暇船員に配布し、止め置き、郵送法で回収した。調査期間の途中において、催促の手紙を入れた。なお、対象者には、粗品を進呈した。

d. 調査時期

1978年11月中旬に配布し、同月下旬回収として設計したが、乗下船の都合などにより、調査日が12月にずれこんだものがある。1972年調査も、同時期である。

3. 有効資料

表1 休暇中船員の生活時間とその行動分類

| 大 分 類 | 中 分 類 | 発生場所 | | 生活行動の具体例（分類の基準） |
|-------|-------------------------------------|------------------|--------|---|
| | | 家庭内 | 家庭外 | |
| 生 理 | すいみん 食事・身仕度 | ○ ○ | ○ ○ | 夜・昼 朝・昼・夕・夜食、独身者の外食のみふくむ 洗面・入浴、外出のしたく、銭湯、散歩 |
| | 休息・ごろね 通院治療 | ○ ○ | ○ ○ | 家庭内の治療（生理的必要から） (本人通院にかぎって) |
| | 子供の世話・相手 | ○ | ○ | 育児、遊び相手、勉強の面倒、子供の送り迎え、 授業参観 |
| | 家事雑事・用なし 家屋の普請 | ○ ○ | ○ ○ | 炊事、そうじ、洗濯、縫い物、荷づくり、手紙、 電話、電気器具の修理、洗車、日用品の買物、 そのつきそい、役所、銀行、車の修理 家屋、家のまわりの建築、増築、修理、それら 工事のかんとく、それらの手つだい、ペンキ塗 り、土地、家さがし |
| 仕 事 | 職業的仕事 | ○ | ○ | 会社との打合せ、社内懇談会に出席、健康診断、 予防注射、研修、講習 |
| | 内職的仕事 | ○ | ○ | 家業の手伝い、アルバイト |
| 交 際 | 他家への手伝い | ○ | ○ | 他家の冠婚葬祭の手伝い、家屋の普請の手伝い、 引越しの手伝い |
| | 個人的つきあい | ○ | ○ | 親族、友人、知人、同僚との訪問、応接、見送 り、訪船、墓参、見舞（個人の選択によるもの） |
| | 社会的つきあい | ○ | ○ | 集会、法事、結婚式、親睦会、同窓会への出席 (他者の要請によるもの) |
| 休養・教養 | 家庭内の雑談 テレビ・ラジオ 新聞・雑誌 読書・学習 | ○ ○ ○ ○ | ○ | お茶、一家だんらん (テレビ見ながらは、テレビを3分の2とする) 調べごと、計画立案（精神的作業）、自動車免 許の取得のため学校へいく、英会話、職業上の 資料分析、講習会 |
| | 散歩 見物・観賞 | ○ | ○ | ぶらぶら歩き、自転車にのって近所をはしる 映画、演劇の見物、音楽会の観賞、スポーツの 見物、(みる娯楽) |
| 趣味・娯楽 | スポーツ 勝負ごと | ○ ○ | ○ ○ | つり、ボーリング、ゴルフ、登山 バチンコ、マージャン、競馬、囲碁、将棋 (かけごと一切) |
| | けいこ・趣味 | ○ | ○ | 絵、彫刻、プラモデル、レコード鑑賞、ならい ごと、小鳥の世話、切手、写真 |
| | 日曜大工・庭いじり | ○ | ○ | 趣味的な大工仕事、庭いじり、園芸 |
| | 行楽・旅行 | ○ | ○ | ドライブ、お宮まいり、旅行、帰省、遊園地、 動物園、ハイキング、運動会、文化祭 |
| | 買物・外飲食 | ○ | ○ | デパートでの買物、レストランでの食事（家族 ぐるみ、交通機関の利用） |
| | そ の 他 | ○ | ○ | |
| | 不 明 | ○ | ○ | |

1978年調査は、1都3県船員250人、石川県船員150人、合計400人に調査表を配布したが、その回収は146人（回収率5.8%、前回6.0%）、41人（回収率2.7%、前回3.5%）、合計187人（回収率4.7%、前回4.9%）にとどまった。

4. 生活行動、対人領域、行動領域の分類

生活行動の分類は、表1の通り、従来をほぼ踏襲している。対人領域は、同居家族、非同居両親、兄弟、親戚、友人・知人、近所の人、会社の人、その他とした。また、行動領域は、家内、歩いていけるところ、乗り物利用の隣接市町村、乗り物1時間以上の県内、隣接県内、非隣接県とした。

B. 最近における休暇船員の

生活時間の構成

1. 調査対象の属性

1972年調査を1978年調査（以下、前回調査、今回調査といいう）における調査対象の属性についてみてみると、表2のようになっている。

1都3県についてみると、今回調査の職位は、職員63%、部員37%であり、前回調査の62%、38%とはほとんど同じである。今回調査の年令構成は、30才未満7.5%、30才代25.3%、40才代34.3%、50才代32.9%であり、前回調査の15.9%、21.0%、50.7%、12.3%にくらべ30才未満が少くなり、50才以上が多くなっている。平均年令では、前回40.9才、今回46.9才である。今回調査の家族型は、核家族74%、大家族21.2%、独身者4.8%であり、前回調査の73.9%、14.5%

%、11.6%にくらべ核家族が多くなり、独身者が少なくなっている。今回調査の内職的仕事を持つ者は11%であり、前回調査の5.8%にくらべ、約2倍に増えている。今回調査の平均休暇日数は83.6日であり、前回調査の58日にくらべ、かなり増加している。そこで、前回調査の調査時点の分類は、前期0～3週目、中期4～6週目、後期7週目以上としたが、休暇日数の増加と個人別長短を考慮して、それぞれの個人の休暇日数を3分割し、調査時点がそれら3分割のどこに位置するかで前期、中期、後期とした。それにより、表2にみるよう今回調査も前回調査と同様な調査時点の構成となつた。

表2. 調査対象の属性（比較）

(人)

| 居住別 | 1都3県 | | 石川県 | |
|----------|------|------|------|------|
| 調査年 | 1978 | 1972 | 1978 | 1972 |
| 総数 | 146 | 138 | 41 | 63 |
| 職位 職員 | 92 | 86 | 3 | - |
| 部員 | 54 | 52 | 38 | 63 |
| 平均年令 | 46.9 | 40.9 | 41.3 | 38.0 |
| 年令 30才未満 | 11 | 22 | 5 | 13 |
| 30才代 | 37 | 29 | 13 | 24 |
| 40才代 | 50 | 70 | 15 | 20 |
| 50才以上 | 48 | 17 | 8 | 6 |
| 家族 核家族 | 108 | 102 | 13 | 17 |
| 大家族 | 31 | 20 | 25 | 39 |
| 独身者 | 7 | 16 | 3 | 7 |
| 内職 有 | 16 | 8 | 26 | 31 |
| 無 | 130 | 130 | 15 | 31 |
| 平均休暇日数 | 83.6 | 58 | 83.1 | 49 |
| 調査 前期 | 49 | 40 | 11 | 19 |
| 時点 中期 | 44 | 55 | 9 | 22 |
| 後期 | 45 | 50 | 21 | 22 |

石川県についてみると、今回調査の職位は職員7.3%、部員9.27%となっている。前回調査では、職員なしとなっているが、それを部員に含ませていたが、今回調査より少い比率(5%)であった。今回調査の年令構成は、30才未満12.2%、30才以上31.7%、40才以上36.6%、50才以上19.5%であり、前回調査の20.6%、38.2%、31.7%、9.5%にくらべ、中高年層が多くなっている。平均年令では、前回38才、今回41.3才である。今回調査の家族型は、核家族31.7%、大家族61%、独身者7.3%であり、前回調査は27%、61.9%、11.1%であり、独身者が少くなつただけで、ほとんど同じ構成である。今回調査の内職的仕事を持つ者は63.4%であり、前回調査の50%にくらべかなり増加している。今回調査の平均休暇日数は83.1日であり、前回調査の49日にくらべかなり増加しており、前回調査とはことなって、1都3県の休暇日数と同一水準になっている。今回調査の休暇時点の構成は、前期26.8%、中期22%、後期51.2%となっており、前回調査あるいは1都3県にくらべ後期の比率が高くなっている。

こうした前回調査と今回調査における調査対象の比較をみると、それぞれの調査対象がそとのときどきの母集団である外航大手船員の属性を反映した属性を持ち、また平均年令の上昇や休暇日数の増加といった環境変化をひじょうに反映していることを知りうる。その意味で、休暇日数の増加のもとでの休暇生活行動とその時間構成を、その変化を含めて積極的に検討しうる。

2. 居住地別生活時間

前回調査であきらかとなつた特徴の一つは、

居住地のちがいによって、生活時間構成がかなり異なることであった。その状況は、表3、表4である。そして、今回調査が前回調査にくらべ、生活時間が1週間1人当たりどのように増加あるいは減少したかを示したのが、表5である。以下、この増減表を中心説明していく。

なお、前回調査においては、1都3県船員は「レジャー行動型」・「家庭サービス型」の休暇生活をすこし、石川県船員は「稼ぎ仕事型」・「テレビ入間型」の休暇生活をすこしていいたと特徴づけられていた。

(a) 1都3県船員

今回調査が前回調査にくらべ、それが増加した大分類生活時間は、仕事、休養・教養、家事的時間である。

(1) 今回の仕事的時間は5時間52分であり、前回の2時間31分にくらべ、3時間21分も増加している。そのうち、職業的仕事が2時間50分も増加し、内職的仕事は31分増加している。前者の行動は、前回主として会社との打合せ、社内懇談会への出席や健康診断・予防注射であったが、今回それらに長期間に及ぶ社内、社外教育研修が付け加わったからである。後者は、内職を持つ者が増加したことによる。

(2) 今回の休養・教養的時間は40時間20分であり、前回の38時間28分にくらべ、1時間52分増加している。そのうち、家庭内の雑談、テレビ・ラジオは減少し、新聞・雑誌、読書・学習は合計3時間38分(1日当たり31分)の増加となっている。すなわち、前者の消極的な休養・教養が減少し、後者の積極的な休養・教養が増加したことになる。

(3) 今回の家事的時間は16時間10分であり、前回の14時間57分にくらべ、1時間13

表3. 居住地別生活時間(週) - 1978 -

(時間、分)

| 居 住 地 | 1 都 3 県 | | | 石 川 県 | | |
|-----------|---------|-------|--------|--------|-------|--------|
| | 内 | 外 | 合計 | 内 | 外 | 合計 |
| 家庭内・外 | | | | | | |
| 生 理 | 75.28 | 1.57 | 77.25 | 81.30 | 1.38 | 83.08 |
| すいみん | 57.56 | .24 | 58.20 | 61.50 | .14 | 62.04 |
| 食事・身仕度 | 15.20 | .07 | 15.27 | 15.44 | .03 | 15.47 |
| 休息・ごろね | 2.05 | | 2.05 | 3.38 | | 3.38 |
| 通院治療 | .07 | 1.46 | 1.33 | .18 | 1.22 | 1.40 |
| 家 事 | 103.3 | 4.07 | 16.10 | 12.43 | 2.53 | 15.36 |
| 子供の世話・相手 | 2.52 | 1.01 | 3.53 | 3.46 | .31 | 4.17 |
| 家事雑事・用たし | 5.33 | 4.07 | 9.40 | 6.52 | 2.21 | 9.13 |
| 家屋の普請 | 2.18 | .20 | 2.38 | 2.05 | .01 | 2.06 |
| 仕 事 | .36 | 5.16 | 5.52 | 1.00 | 8.20 | 9.20 |
| 職業的仕事 | .00 | 4.41 | 4.41 | .02 | 2.14 | 2.16 |
| 内職的仕事 | .36 | .75 | 1.11 | .98 | 5.56 | 6.54 |
| 交 際 | 2.15 | 7.32 | 9.47 | 5.57 | 8.26 | 15.23 |
| 他家への手伝い | | .18 | .18 | | 2.20 | 2.20 |
| 個人的つきあい | 2.13 | 5.42 | 7.55 | 5.32 | 4.59 | 10.31 |
| 社会的つきあい | .01 | 1.33 | 1.34 | .24 | 2.07 | 2.31 |
| 休養・教養 | 38.31 | 1.49 | 40.20 | 37.08 | 1.16 | 38.24 |
| 家庭内の雑談 | 5.56 | | 5.56 | 6.19 | | 6.19 |
| テレビ・ラジオ | 20.49 | | 20.49 | 25.46 | | 25.46 |
| 新聞・雑誌 | 5.35 | | 5.35 | 4.08 | | 4.08 |
| 読書・学習 | 6.10 | 1.49 | 7.59 | .56 | 1.15 | 2.11 |
| 趣味・娯楽 | 4.53 | 13.16 | 18.06 | 2.24 | 3.45 | 6.09 |
| 散 歩 | | .55 | .55 | | .09 | .09 |
| 見物・観賞 | | .43 | .43 | | .07 | .07 |
| スポーツ | .01 | 3.47 | 3.48 | .00 | .44 | .44 |
| 勝負ごと | .24 | .57 | 1.21 | .58 | .20 | 1.18 |
| けいこ・趣味 | 1.08 | .09 | 1.17 | .07 | .27 | .34 |
| 日曜大工・庭いじり | 3.20 | .00 | 3.20 | 1.19 | .04 | 1.23 |
| 行楽・旅行 | | 4.47 | 4.47 | | .59 | .59 |
| 買物・外飲食 | | 1.57 | 1.57 | | .56 | .56 |
| そ の 他 | .00 | .00 | .00 | .00 | .00 | .00 |
| 不 明 | .00 | .00 | .17 | .00 | .00 | .00 |
| 合 計 | 132.43 | 35.17 | 168.00 | 140.41 | 27.19 | 168.00 |
| 正味家庭外時間 | 30.01 | | | 18.59 | | |
| 総 数 | 146 | | | 41 | | |

注 (1) 空欄は、分類上、該当数字がない。

(2) 合計時間、小計時間は、計算の都合で若干の誤差が出ている。

(3) 正味家庭外時間とは、家庭外の仕事時間をのぞいた時間である。

表4. 居住地別生活時間(週) - 1972 -

(時間・分)

| 居住地別 | 1 都 3 県 | | | 石 川 県 | | |
|-----------|---------|-------|--------|--------|-------|--------|
| | 内 | 外 | 合計 | 内 | 外 | 合計 |
| 家庭内・外 | | | | | | |
| 生 理 | 76.37 | 4.33 | 81.09 | 80.49 | 2.42 | 83.30 |
| すいみん | 55.57 | 3.22 | 60.09 | 61.40 | .21 | 62.00 |
| 食事・身仕度 | 155.8 | | 155.8 | 154.8 | | 154.8 |
| 休息・ごろね | 3.52 | | 3.52 | 3.22 | | 3.22 |
| 通院治療 | | 1.11 | 1.11 | | 2.21 | 2.21 |
| 家 事 | 122.6 | 2.31 | 145.7 | 104.5 | 1.40 | 122.6 |
| 子供の世話・相手 | 3.32 | .10 | 3.42 | 2.31 | .31 | 3.02 |
| 家事雑事・用たし | 5.43 | 2.21 | 8.04 | 4.33 | 1.11 | 5.43 |
| 家屋の普請 | 3.12 | | 3.12 | 3.42 | | 3.42 |
| 仕 事 | 2.1 | 2.12 | 2.31 | .21 | 9.04 | 9.25 |
| 職業的仕事 | | 1.51 | 1.51 | | .10 | .10 |
| 内職的仕事 | .21 | .21 | .40 | .21 | 8.55 | 9.15 |
| 交 際 | 2.12 | 9.15 | 11.26 | 3.42 | 9.35 | 13.16 |
| 他家の手伝 | | .51 | .51 | | 2.31 | 2.31 |
| 個人的つきあい | 2.12 | 6.43 | 8.55 | 3.32 | 5.33 | 9.04 |
| 社会的つきあい | | 1.41 | 1.41 | .10 | 1.31 | 1.41 |
| 休養・教養 | 37.48 | .40 | 38.28 | 39.29 | 1.01 | 40.30 |
| 家庭内の雑談 | 7.22 | | 7.22 | 7.04 | | 7.04 |
| テレビ・ラジオ | 21.10 | | 21.10 | 25.43 | | 25.43 |
| 新聞・雑誌 | 4.33 | | 4.33 | 4.43 | | 4.43 |
| 読書・学習 | 4.43 | .40 | 5.23 | 2.01 | 1.01 | 3.02 |
| 趣味・娯楽 | 5.23 | 14.07 | 19.30 | 4.02 | 4.52 | 8.55 |
| 散 歩 | | 1.01 | 1.01 | | .21 | .21 |
| 見物・鑑賞 | | .21 | .21 | | .10 | .10 |
| ス ポーツ | | 2.21 | 2.21 | | 1.51 | 1.51 |
| 勝負ごと | .21 | 1.21 | 1.41 | .51 | .31 | 1.21 |
| けいこ・趣味 | 1.21 | .10 | 1.31 | .51 | — | .51 |
| 日曜大工・庭いじり | 3.12 | — | 3.12 | 2.12 | — | 2.12 |
| 行楽・旅行 | | 5.33 | 5.33 | | 1.31 | 1.31 |
| 買物・外飲食 | | 3.22 | 3.22 | | .31 | .31 |
| そ の 他 | .31 | — | .31 | .10 | — | .10 |
| 不 明 | — | — | — | .00 | — | 1 — |
| 合 計 | 134.45 | 33.16 | 168.00 | 139.07 | 28.54 | 168.00 |
| 正味家庭外時間 | | 31.04 | | | 19.05 | |
| 総 数 (人) | | 138 | | | 63 | |

表 5. 居住別生活時間(週)の増減表

(時間・分)

| 居住地別 | 1都3県 | | 石川県 | |
|-----------|------|------|------|------|
| | 増加 | 減少 | 増加 | 減少 |
| 生 理 | | 3.44 | | .22 |
| すいみん | | 1.49 | .04 | |
| 食事・身仕度 | | .31 | | .01 |
| 休息・ごろね | | 1.47 | .06 | |
| 通院治療 | .22 | | | .41 |
| 家 事 | 1.13 | | 3.10 | |
| 子供の世話・相手 | .11 | | 1.15 | |
| 家事雑事・用たし | 1.56 | | 3.30 | |
| 家屋の普請 | | .34 | | 1.36 |
| 仕 事 | 3.21 | | | .05 |
| 職業的仕事 | 2.50 | | 2.06 | |
| 内職的仕事 | .31 | | | 2.21 |
| 交 際 | | 1.39 | 2.07 | |
| 他家への手伝い | | .33 | | .11 |
| 個人的つきあい | | 1.00 | 1.27 | |
| 社会的つきあい | | .07 | .50 | |
| 休養・教養 | 1.52 | | | 2.06 |
| 家庭内の雑談 | | 1.26 | | .45 |
| テレビ・ラジオ | | .21 | .03 | |
| 新聞・雑誌 | 1.02 | | | .35 |
| 読書・学習 | 2.36 | | | .51 |
| 趣味・娯楽 | | 1.24 | | 2.46 |
| 散 歩 | | .06 | | .12 |
| 見物・鑑賞 | .22 | | | .03 |
| ス ポーツ | 1.27 | | | 1.07 |
| 勝負ごと | | .20 | | .03 |
| けいこ・趣味 | | .14 | | .17 |
| 日曜大工・庭いじり | .08 | | | .49 |
| 行楽・旅行 | | .46 | | .32 |
| 買物・外飲食 | | 2.25 | .26 | |
| そ の 他 | | .31 | | .10 |
| 不 明 | | | | |
| 正味家庭外時間 | | 1.03 | | .06 |

注、 1978調査数値 - 1972調査数値 = 増減量

分の増加となっている。その増加は、家事雑事・用たしの1時間36分の増加に負うところが多い。

つぎに、今回調査が前回調査にくらべ、それが減少した大分類生活時間は、生理、交際、趣味・娯楽である。

(4) 今回の生理的時間は77時間02分であり、前回の81時間09分にくらべ、3時間44分の減少となっている。そのうち、すいみん、休息・ごろねは合計3時間36分である。この減少は、きわめて特徴的な変化の一つである。その結果、1日当たりのすいみん、休息・身仕度行動は、前回の9時間から今回の8時間38分へと減少したことになっている。

(5) 今回の交際的時間は9時間47分であり、前回の11時間26分にくらべ、1時間39分の減少となっている。その減少は、すべての交際行動にわたっているが、そのなかでも、個人的つきあい1時間の減少が大きい。

(6) 今回の趣味・娯楽的時間は18時間16分であり、前回の19時間30分にくらべ、1時間24分の減少となっている。この減少は、多くの行動の増・減によって構成された結果である。主に減少した行動は、買物・外飲食2時間25分、行楽・旅行46分である。主に増加した行動は、スポーツ1時間27分である。趣味・娯楽時間のうち、積極的なレクリエーションといえるスポーツがかなり増減し、またけいこ・趣味、日曜大工・庭いじりといった行動がほぼ同水準である。その結果、今回の趣味・娯楽時間は、前回にくらべより積極的な構成となっていった。

(7) こうした1都3県船員の休暇生活時間の構成変化から、仕事的時間の増加(3時間44

分)は生理的時間の減少(3時間44分)に、家事的時間の増加(1時間13分)は交際的時間の減少(1時間39分)に対応しており、また休養・教養、趣味・娯楽における増加と減少にはほぼ対応しているという仮説がえられる。

(b) 石川県船員

今回調査が前回調査にくらべ、それが増加した大分類生活時間は、家事、交際である。

(1) 今回の家事的時間は15時間36分は、前回の12時間26分にくらべ、3時間10分の増加となっている。そのうち、家事雑事・用たしは3時間30分、子供の世話・相手1時間15分は増加しているが、それに対して家屋の普請1時間36分は減少している。家事雑事・用たしの増加は、特徴的な変化の一つである。

(2) 今回の交際的時間は15時間23分は、前回の13時間16分にくらべ、2時間07分の増加となっている。その増加は、個人的つきあいや社会的つきあいの増加に負っている。

今回調査が前回調査にくらべ、それが減少した大分類生活時間は、趣味・娯楽、休養・教養、生理、仕事である。

(3) 今回の趣味・娯楽的時間は6時間09分であり、前回の8時間55分にくらべ、2時間46分の減少となっている。その減少は、ほぼすべての趣味・誤樂行動にわたって減少しているが、そのなかでもスポーツ1時間07分、日曜大工・庭いじり49分の減少が大きい。

(4) 今回の休養・教養的時間は38時間24分であり、前回の40時間30分にくらべ、2時間06分の減少となっている。この減少は、ほぼすべての休養・教養行動にわたっている。

(5) 今回の生理的時間は83時間08分であり、前回の83時間30分にくらべ、22分の

減少となっている。そのうち、通院治療の減少が大きい。

(6) 今回の仕事的時間は9時間20分であり、前回の9時間25分にくらべ、05分の減少となっている。そのうち、職業的仕事の2時間06分の増加に対して、内職的仕事の2時間21分の減少になっており、きわめて対称的となっている。なお、内職的仕事は前回調査と同じ田畠仕事、山林の手入れのほか、内職の手伝いが付加わっている。

(7) こうした石川県船員の休暇生活時間の構成変化から、家事的時間の増加(3時間10分)は趣味・娯楽的時間の減少(2時間46分)の減少に対応し、また交際的時間の増加(2時間07分)は休養・教養的時間の減少(2時間06分)に対応し、また仕事的時間における職業的仕事の増加と内職的仕事の減少に対応しているという仮説が得られる。

(c) 1都3県船員と石川県船員との比較

(1) 1都3県船員と石川県船員の生活時間の構成変化について比較してみると、かなり対称的な変化をみせていていることを知りうる。1都3県船員と石川県船員とがともに増加している生活時間(増減量が30分以上にかぎる)は、家事雑事・用たし、職業的仕事にとどまる。それとともに減少している生活時間は、家屋の普請、家庭内の雑談、行楽・旅行にとどまる。

それに対して、1都3県船員が石川県船員とは逆の傾向になっており、前者の増加となっている生活時間は、内職的仕事、新聞・雑誌、読書・学習、スポーツとなっている。また、後者の減少となっている生活時間は、すいみん、休息・ごろね、個人的つきあいである。逆に、石川県船員の増加となっている生活時間は、子供の

世話・相手である。

(2) 1都3県船員と石川県船員とは、前回調査においては大きな格差があったのは、仕事的時間(前者2時間31分、後者9時間25分)や、趣味・娯楽的時間(19時間30分、8時間55分)であった。今回調査では、仕事時間は前者・5時間52分、後者・9時間20分となり、かなりの格差の縮小となつたが、その内容は従来通りくなっている。さらに、趣味・娯楽的時間はそれぞれ、18時間06分と6時間09分となり、従来の2倍から3倍に拡大した。また、前回それほど格差のなかつた生活時間のうち、生理的時間や交際的時間は前回にくらべ拡大し、前者が後者にくらべより少なくなった。休養・教養的時間のうち、1都3県船員の新聞・雑誌、読書・学習が増加し、石川県船員のそれが減少したため、その格差が逆転している。家事的時間は、石川県船員のそれが増加したことにより、1都3県船員とほぼ一致するようになった。

(3) 今回調査において、石川県船員の趣味・娯楽時間は1都3県船員にくらべて、約12時間も少ない。その格差に対応する時間としては、生理的時間の6時間、交際的時間の6時間ということになる。

(d) まとめ

いま、前回調査と今回調査との比較、および居住地別比較をまとめてみると、1都3県船員は従来にくらべ職業的仕事が増加したこと、そして新聞・雑誌、読書・学習、スポーツを増加したことにおいて、従来にくらべ一方で職業型休暇生活が現出し、他方で余暇型休暇生活の志向を強めているといえる。図2にみるとよろに、石川県船員は従来にくらべ子供の世話・相手、

家事雑事・用たしが増加し、逆にスポーツが減少したことにおいて、従来にくらべ家事型休暇生活の志向を強めているといえる。その結果、1都3県船員は石川県船員にくらべ、従来にもまして余暇型志向となっており、逆に石川県船員は従来にもまして休養型・家事型志向を強めている。ただ、1都3県船員の職業的仕事が増加したため、石川県船員との格差は縮小している。

3. 仕事有無別生活時間

前回調査において、石川県船員の半数が内職的仕事を行なっており、それが生活時間構成に大きな影響を与えていた。今回調査においては、すでにみたように、1都3県船員について、職業的仕事が発生し、しかもかなりの時間量になつておらず、生活時間構成の変化の重要な要因となっている。そこで、居住地ごとに、仕事有無別生活時間についてみてみよう。

(a) 1都3県船員

1都3県船員の場合、前回調査で職業的仕事有無別集計を行なつていないので、今回調査との比較は前回調査の単純集計に対する比較である。

(1) 今回調査において、職業的仕事の有る船員はそれがない船員にくらべ、時間量の多い生活行動は、表6にみるようくスポーツにとどまる。逆に、それが少ないので、家事雑事・用たし、テレビ・ラジオ、日曜大工・庭いじりなど、広範にわたる。その有無にかかわりなく、すいみん、交際的行動、行楽・旅行は、ほぼ同じ時間量となっている。

(2) 職業的仕事の有る船員は、前回調査にくらべ、表7にみるようく、ほぼすべての生活行動にわたって、時間量が減少している。逆に、

それが無い船員は、すべての生活行動にわたって、時間量が増加しているが、その増加はきわめて微弱であり、変化があつたとは認めがたい。

(b) 石川県船員

(1) 前回調査において、内職的仕事の有る船員は、それが無い船員にくらべ、内職的仕事以外のすべての生活時間が少なかったが、そのなかでも家庭内の雑談、テレビ・ラジオ、スポーツが、とくに少なかった。今回調査においては、表6にみるようく、前回調査のようにすべての生活時間が少ないのでなく、あきらかに少ないのは家事雑事・用たし、個人的つきあい、読書・学習であり、逆に多いのは社会的つきあい、趣味・娯楽的行動である。

(2) 内職的仕事の有る船員において、前回調査にくらべ時間量が増加している生活行動は、表8にみるようく、家事雑事・用たし、テレビ・ラジオであり、逆に減少しているのは内職的仕事6時間44分、読書・学習2時間06分である。それが無い船員においては、時間量が増加している生活行動は家事雑事・用たし5時間52分、職業的仕事2時間42分、個人的つきあい2時間58分であり、逆に減少しているのは家庭の普請、家庭内雑談、スポーツ、日曜大工・庭いじりなど、広範にわたる。

(3) これらの結果を整理してみると、内職的仕事の有る船員は、内職的時間が少なくなっただけ、家事的時間は増加しているが、生活時間構成は決定的には変化していないといえる。それに対して、内職的仕事の無い船員は、職業的仕事が発生したことにおいて、余暇的時間がかなり減少しているが、けっして大きな変化ではない。しかし、前回調査では内職的仕事の有無で、生活時間構成に大きな違いがあつたが、そ

表6. 仕事有無別生活時間 -1978-

(時間・分)

| 居住地別 | 1都3県 | | 石川県 | |
|-----------|--------|--------|--------|--------|
| 仕事別 | 職業的仕事 | | 内職的仕事 | |
| 有無別 | 有 | 無 | 有 | 無 |
| 生理 | 75.54 | 78.12 | 82.32 | 84.33 |
| すいみん | 58.24 | 58.24 | 61.31 | 63.07 |
| 食事・身仕度 | 14.48 | 15.42 | 16.07 | 15.19 |
| 休息・ごろね | 1.42 | 2.18 | 3.36 | 3.49 |
| 通院治療 | 1.00 | 1.48 | 1.18 | 2.18 |
| 家事 | 13.06 | 17.18 | 13.49 | 18.32 |
| 子供の世話・相手 | 4.24 | 3.42 | 3.18 | 5.37 |
| 家事雑事・用たし | 6.54 | 10.42 | 8.01 | 11.25 |
| 家屋の普請 | 1.48 | 2.54 | 2.30 | 1.30 |
| 仕事 | 17.00 | 1.36 | 12.55 | 2.42 |
| 職業的仕事 | 16.42 | .06 | 2.00 | 2.42 |
| 内職的仕事 | .18 | 1.30 | 10.55 | .00 |
| 交際 | 9.36 | 9.48 | 15.19 | 15.31 |
| 他家への手伝い | .00 | .24 | 3.00 | 1.12 |
| 個人的つきあい | 7.06 | 8.12 | 9.01 | 13.13 |
| 社会的つきあい | 2.30 | 1.12 | 3.18 | 1.06 |
| 休養・教養 | 36.30 | 41.48 | 36.19 | 41.58 |
| 家庭内の雑談 | 4.42 | 6.24 | 6.18 | 5.55 |
| テレビ・ラジオ | 18.42 | 21.36 | 25.01 | 27.13 |
| 新聞・雑誌 | 4.54 | 5.54 | 3.54 | 4.43 |
| 読書・学習 | 8.12 | 7.54 | 1.06 | 4.07 |
| 趣味・娯楽 | .36 | 19.00 | 7.06 | 4.44 |
| 散歩 | .36 | 1.00 | .18 | .00 |
| 見物・鑑賞 | 5.24 | .48 | .00 | .18 |
| スポーツ | 1.12 | 3.12 | .42 | .24 |
| 勝負ごと | .36 | 1.24 | 1.12 | 1.37 |
| けいこ・趣味 | 1.42 | 1.30 | .48 | .18 |
| 日曜大工・庭いじり | 4.30 | 4.00 | 1.54 | .36 |
| 行楽・旅行 | 1.18 | 4.54 | 1.24 | .18 |
| 買物・外飲食 | .00 | 2.12 | .48 | 1.13 |
| その他 | .00 | .00 | .00 | .00 |
| 不明 | 168.00 | 18 | .00 | .00 |
| 合計 | 40 | 168.00 | 168.00 | 168.00 |
| 総数 | | 106 | 26 | 15 |

表7. 1都3県船員の職業的仕事有無別生活時間(週)の増減表

(時間・分)

| 仕事の有無別 | 有 | | 無 | |
|-----------|-------|------|------|------|
| | 増 | 減 | 増 | 減 |
| 増 減 | 加 | 少 | 加 | 少 |
| 生 理 | | .131 | .47 | |
| すいみん | .04 | | .04 | |
| 食事・身仕度 | | .39 | .15 | |
| 休息・ごろね | | .23 | .13 | |
| 通院治療 | | .33 | .45 | |
| 家 事 | | 3.04 | 1.08 | |
| 子供の世話・相手 | .31 | | | .11 |
| 家事雑事・用たし | | 2.46 | 1.02 | |
| 家屋の普請 | | .50 | .16 | |
| 仕 事 | 11.08 | | | 4.16 |
| 職業的仕事 | 12.01 | | | 4.35 |
| 内職的仕事 | | .53 | .19 | |
| 交 際 | | .11 | .01 | |
| 他家への手伝い | | .18 | .06 | |
| 個人的つきあい | | .49 | .17 | |
| 社会的つきあい | .56 | | | .22 |
| 休養・教養 | | 3.50 | 1.28 | |
| 家庭内の雑談 | | 1.14 | .28 | |
| テレビ・ラジオ | | 2.07 | .47 | |
| 新聞・雑誌 | | .41 | .19 | |
| 読書・学習 | .13 | | | .05 |
| 趣味・娯楽 | | 2.12 | .54 | |
| 散 歩 | | .19 | .05 | |
| 見物・鑑賞 | | .07 | .05 | |
| スポーツ | 1.36 | | | .36 |
| 勝負ごと | | .09 | .03 | |
| けいこ・趣味 | | .41 | .13 | |
| 日曜大工・庭いじり | | 1.38 | .40 | |
| 行楽・旅行 | | .17 | .06 | |
| 買物・外飲食 | | .39 | .15 | |
| そ の 他 | | .00 | .00 | |
| 不 明 | | .17 | .01 | |

表8. 石川県船員の内職的仕事有無別生活時間(週)の増減表

(時間・分)

| 仕事の有無別 | 有 | | | 無 | | |
|-----------|---|------|-----|------|------|------|
| | 増 | 減 | 増 加 | 減 少 | 増 加 | 減 少 |
| 生 理 | | .53 | | .49 | | .48 |
| すいみん | | | | | 1.27 | |
| 食事・身仕度 | | .29 | | | | .39 |
| 休息・ごろね | | 1.35 | | | | .54 |
| 通院治療 | | | | .23 | | .44 |
| 家 事 | | 2.23 | | | 4.55 | |
| 子供の世話・相手 | | .47 | | | 1.55 | |
| 家事雑事・用たし | | 2.08 | | | 5.52 | |
| 家屋の普請 | | | | .32 | | 2.52 |
| 仕 事 | | | | 5.04 | 2.42 | |
| 職業的仕事 | | 1.39 | | | 2.42 | |
| 内職的仕事 | | | | 6.44 | | — |
| 交 際 | | 1.42 | | | 2.15 | |
| 他家への手伝い | | | | .12 | | .39 |
| 個人的つきあい | | .57 | | | 2.58 | |
| 社会的つきあい | | .57 | | | | .05 |
| 休養・教養 | | | | .29 | | 2.23 |
| 家庭内の雑談 | | .25 | | | | 2.29 |
| テレビ・ラジオ | | 1.09 | | | | .11 |
| 新聞・雑誌 | | .02 | | | | .50 |
| 読書・学習 | | | | 2.06 | 1.05 | |
| 趣味・娯楽 | | .33 | | | | 6.42 |
| 散 歩 | | .08 | | | | .21 |
| 見物・鑑賞 | | | | .10 | .18 | |
| ス ポーツ | | | | .09 | | 2.48 |
| 勝負ごと | | .32 | | | | .24 |
| けいこ・趣味 | | | | .03 | | .43 |
| 日曜大工・庭いじり | | .03 | | | | 1.55 |
| 行楽・旅行 | | | | .07 | | 1.23 |
| 買物・外飲食 | | .27 | | | .42 | |
| そ の 他 | | | | .10 | | .10 |
| 不 明 | | | | — | — | |

の違いは基本的には維持されているかにみえるが、その格差はかなり縮小するところとなった。

4. 職員・部員別生活時間

前回調査において、職員は「家庭サービス型」、部員は「テレビ人間型」と特徴づけられ、また職員の休暇生活はいろいろある行動があり、さらに石川県部員は家庭内生活行動がかなり特化していた。

今回調査の職員・部員別生活時間構成は表9の通りであり、前回調査との増減量は表10の通りである。

(a) 1都3県船員

(1) 1都3県職員の時間量が、前回調査にくらべ増加した生活行動は、読書・学習2時間48分、新聞・雑誌1時間39分、家事雑事・用なし1時間34分、テレビ・ラジオ1時間25分、職業的仕事など、多様多岐にわたる。逆に、それが減少した行動は、行楽・旅行2時間23分、家庭内の雑談1時間59分、買物・外飲食1時間13分など、これまた多様多岐にわたる。その結果、1都3県船員は、従来にくらべ「家庭サービス型」を堅持しながらも、レジャーよりも「学習型」の生活行動への志向を強めているとみられる。

(2) 1都3県部員の時間量が、前回調査にくらべ増加した生活行動は、職業的仕事5時間04分、読書・学習2時間14分、行楽・旅行1時間52分、家事雑事・用なし1時間42分、通院治療1時間37分、スポーツ1時間32分など、多様多岐にわたる。逆に、それが減少した行動は、主としてすいみん3時間15分、テレビ・ラジオ3時間14分、休息・ごろね2時間49分である。その結果、最近の1都3県部員の休暇生活は、従来にくらべかなり大きな変化

をみせるようになり、従来の「テレビ人間型」あるいは「休養型」生活をかなり脱却し、「レジャー型」・「職業型」生活志向が強まりつつある。

(3) 1都3県の職員・部員比較

前回調査において、1都3県部員は職員にくらべ、テレビ・ラジオが10時間も多かったが、今回調査においては4時間に縮小した。逆に、行楽・旅行は2時間少なかったが、今回は逆に2時間多くなっている。そして、前回の仕事時間は職員・部員とも同じ時間量であったが、今回、部員は9時間にも及び、職員より5時間も多くなっている。その結果、従来、職員と部員とでことなっていた生活時間構成は仕事的時間をのぞいていえば、ひじょうに類似した構成となりつつある。

(b) 石川県船員

石川県船員は、主として部員であるので、前回調査と今回調査の比較は、すでに述べたところで足りる。そこで、1都3県部員との対比でいえば、1都3県部員のテレビ・ラジオ時間が大幅に減少しているのに、石川県部員はむしろ増加し、また前者のスポーツ時間は増加しているのに、後者は減少しているなどのちがいがある。そして、1都3県部員の職業的仕事が増加した結果、仕事時間はそのあいだで同じ時間量となつたことなどが、特徴的である。

(c) 1都3県職員、同部員、石川県部員の比較

1都3県職員は、他にくらべて、より、余暇型生活となっている。同部員も、それにかなり近い型になっているが、職業型生活を余儀なくされているため、職員より余暇型生活を制約されている。こうしたことから、石川県部員は他

表9. 職員・部員別生活時間(週) - 1978-

(時間・分)

| 県 别 | 1 都 3 県 | | 石 川 県 | |
|-----------|---------|--------|--------|--------|
| 職 位 别 | 職 員 | 部 員 | 職 員 | 部 員 |
| 家 庭 内 外 | 計 | 計 | 計 | 計 |
| 生 理 | 77.59 | 76.27 | 80.50 | 83.19 |
| すいみん | 58.35 | 57.54 | 59.20 | 62.17 |
| 食事・身仕度 | 15.41 | 15.03 | 17.10 | 15.40 |
| 休息・ごろね | 2.24 | 1.33 | 4.20 | 3.35 |
| 通院治療 | 1.18 | 1.58 | .00 | 1.47 |
| 家 事 | 17.25 | 14.03 | 18.00 | 15.25 |
| 子供の世話・相手 | 4.20 | 3.06 | 8.30 | 3.58 |
| 家事雑事・用たし | 10.29 | 8.15 | 9.30 | 9.11 |
| 家屋の普請 | 2.36 | 2.41 | .00 | 2.16 |
| 仕 事 | 3.57 | 9.09 | 7.40 | 9.28 |
| 職業的仕事 | 3.05 | 7.25 | .00 | 2.26 |
| 内職的仕事 | .52 | 1.44 | 7.40 | 6.50 |
| 交 際 | 9.05 | 11.01 | 21.20 | 14.55 |
| 他家への手伝い | .04 | .43 | 3.50 | 2.13 |
| 個人的つきあい | 7.38 | 8.24 | 8.10 | 10.45 |
| 社会的つきあい | 1.22 | 1.54 | 9.20 | 1.59 |
| 休養・教養 | 40.22 | 40.15 | 33.50 | 38.46 |
| 家庭内の雑談 | 5.55 | 5.58 | 9.20 | 6.05 |
| テレビ・ラジオ | 19.04 | 23.49 | 17.00 | 26.28 |
| 新聞・雑誌 | 6.12 | 5.32 | 6.50 | 3.55 |
| 読書・学習 | 9.12 | 4.56 | .40 | 2.18 |
| 趣味・娯楽 | 18.47 | 17.00 | 6.20 | 6.09 |
| 散 歩 | .46 | 1.11 | .00 | .10 |
| 見物・鑑賞 | .53 | .26 | .00 | .07 |
| ス ポーツ | 4.14 | 3.03 | .00 | .47 |
| 勝負ごと | 1.42 | .46 | 2.40 | 1.12 |
| けいこ・趣味 | 1.23 | 1.07 | .30 | .34 |
| 日曜大工・庭いじり | 3.29 | 3.04 | .00 | 1.30 |
| 行楽・旅行 | 4.01 | 6.04 | 2.00 | .55 |
| 買物・外飲食 | 2.19 | 1.19 | 1.10 | .55 |
| そ の 他 | .00 | .00 | .00 | .00 |
| 不 明 | .25 | .05 | .00 | .00 |
| 合 計 | 168.00 | 168.00 | 168.00 | 168.00 |
| 正味家庭外時間 | 28.56 | 30.07 | 17.30 | 19.06 |
| 総 数 | 92 | 54 | 3 | 38 |

表10. 職員・部員別生活時間(週)の増減表

(時間・分)

| 職位 | 職員 | | 部員 | | | |
|-----------|------|------|------|------|------|------|
| | 居住地別 | | 1都3県 | | 1都3県 | |
| 増減 | 増加 | 減少 | 増加 | 減少 | 増加 | 減少 |
| 生理 | | 2.50 | | 5.22 | | .11 |
| すいみん | | .53 | | 3.15 | .17 | |
| 食事・身仕度 | | .17 | | .55 | | .08 |
| 休息・ごろね | | 1.08 | | 2.49 | .13 | |
| 通院治療 | | .33 | 1.37 | | | .34 |
| 家事 | 1.07 | | 1.37 | | 2.59 | |
| 子供の世話・相手 | | .02 | .35 | | .56 | |
| 家事雑事・用たし | 1.34 | | 1.42 | | 3.28 | |
| 家屋の普請 | | .26 | | .41 | | 1.26 |
| 仕事 | 1.36 | | 6.17 | | .03 | |
| 職業的仕事 | 1.24 | | 5.04 | | 2.16 | |
| 内職的仕事 | .12 | | 1.13 | | | 2.25 |
| 交際 | | 2.11 | | .25 | 1.39 | |
| 他家の手伝い | | .47 | | .08 | | .18 |
| 個人的つきあい | | 1.07 | | .40 | 1.39 | |
| 社会的つさあい | | .19 | .23 | | .18 | |
| 休養・教養 | 3.54 | | | 1.45 | | 1.44 |
| 家庭内の雑談 | | 1.59 | | .45 | | .59 |
| テレビ・ラジオ | 1.25 | | | 3.14 | .45 | |
| 新聞・雑誌 | 1.39 | | | .01 | | .48 |
| 読書・学習 | 2.48 | | 2.14 | | | .44 |
| 趣味・娯楽 | | 2.03 | | .28 | | 2.46 |
| 散歩 | | .05 | .10 | | | .11 |
| 見物・鑑賞 | .22 | | .05 | | | .03 |
| スポーツ | 1.22 | | 1.32 | | | 1.04 |
| 勝負ごと | .31 | | | 1.45 | | .09 |
| けいこ・趣味 | | .18 | | .04 | | .17 |
| 日曜大工・庭いじり | .17 | | | .08 | | .42 |
| 行楽・旅行 | | 2.23 | 1.52 | | | .36 |
| 買物・外飲食 | | 1.13 | | 1.53 | .24 | |
| その他 | | .40 | | .21 | | .10 |
| 不明 | .25 | | .05 | | | |
| 正味家庭外時間 | | 3.19 | .54 | | .01 | |

にくらべて、より休養型生活となりつつある。

5. 年令別生活時間

(a) 1都3県船員

(1) 30才未満船員

前回調査における30才未満の1都3県船員の生活時間構成の特徴は、個人的つきあい、勝負ごと、行楽・旅行がきわめて多く、すぐれた若者としての余暇型生活を行なっていることであった。こうした特徴は、今回調査においても、表1.1をみると、基本的に一貫しているといえる。

しかし、表1.2.にみると、前回にくらべ行楽・旅行が8時間46分、勝負ごと3時間03分も減少している。それに対して、読書・学習5時間32分、けいこ・趣味4時間36分、個人的つきあい3時間26分、職業的仕事3時間21分、スポーツ3時間13分も増加している。このように、きわめて大きな変動がみられる。前回調査で11時間16分という大量時間を占めていた行楽・旅行は、今回調査では2時間30分にまで落込み、年令層のなかでもっとも少ない時間量となってしまった。それとは逆に、従来それほど多くはなかった読書・学習やけいこ・趣味が大幅に増加し、年令別のなかでもっとも多い時間量となつた。なお、30代未満船員のサンプル数が少ないと云ふことは、これらのことを見割引かなければならぬかも知れない。

(2) 30才代船員

前回調査における30才代の1都3県船員の生活時間構成の特徴は、子供の世話・相手、読書・学習に、それなりの多くの時間がついやすかれていることであった。今回調査においても、子供の世話・相手は、他の年令層にくらべて確に多いが、読書・学習は平均的な量となつてい

る。前回調査にくらべ時間量が増加した生活行動は、スポーツの3時間42分、個人的つきあいの3時間06分である。逆に減少した生活行動は、主として生理的時間である。行楽・旅行はあまり変わっておらず、もっとも多い年令層となつた。いずれにしても他にくらべて、生活時間構成の変動が、それほど大きくない年令層である。

(3) 40才代船員

前回調査における40才代の1都3県船員の生活時間構成の特徴は、家事雑事・用たし、日曜大工・庭いじりについやす時間が多く、行楽・旅行が少ないと云つた。今回調査では、前者については他の年令層も増加したため特徴的ではなくつたが、後二者についてはいまなお特徴的である。前回調査にくらべ増加した生活行動は、主として読書・学習3時間58分、職業的仕事2時間44分であり、それが減少した生活行動は主として個人的つきあい4時間14分、家庭内の雑談2時間26分、買物・外飲食2時間20分、その他生理的時間である。この40才代船員が、船員の休暇生活の平均的なパターンをなしている。

(4) 50才代船員

前回調査における50才代の1都3県船員の生活時間構成の特徴は、他にくらべて、通院治療、家事雑事・用たし時間が多く、そして30才未満について趣味・娯楽時間なかでも行楽・旅行が多いことであった。前回調査にくらべ時間量が増加した生活行動は、職業的仕事4時間33分、読書・学習4時間09分、新聞・雑誌2時間18分である。逆に、それが減少したものは、家庭内の雑談3時間55分、けいこ・趣味2時間09分、他家の手伝い1時間41分

表11 1都3県の年令生活時間(週) -1978-

(時間・分)

| 年令別 | 30才未満 | 30才代 | 40才代 | 50才代 |
|-----------|--------|--------|--------|--------|
| 家庭内外 | 計 | 計 | 計 | 計 |
| 生理 | 79.52 | 77.16 | 76.11 | 78.15 |
| すいみん | 63.35 | 59.07 | 56.37 | 58.19 |
| 食事・身仕度 | 13.22 | 15.16 | 15.50 | 15.40 |
| 休息・ごろね | 1.27 | 1.30 | 1.59 | 2.47 |
| 通院治療 | 1.27 | 1.25 | 1.46 | 1.28 |
| 家事 | 12.11 | 17.53 | 17.07 | 14.46 |
| 子供の世話・相手 | 3.46 | 7.02 | 3.49 | 1.32 |
| 家事雑事・用たし | 8.00 | 9.07 | 9.59 | 10.08 |
| 家屋の普請 | .25 | 1.44 | 3.20 | 3.07 |
| 仕事 | 6.03 | 4.17 | 5.25 | 7.32 |
| 職業的仕事 | 5.33 | 2.48 | 4.05 | 6.34 |
| 内職的仕事 | .30 | 1.29 | 1.19 | .58 |
| 交際 | 14.44 | 12.29 | 6.46 | 9.44 |
| 他家の手伝い | .33 | .05 | .43 | .00 |
| 個人的つきあい | 14.11 | 9.19 | 5.01 | 8.25 |
| 社会的つきあい | .00 | 3.02 | 1.03 | 1.19 |
| 休養・教養 | 33.44 | 38.08 | 43.31 | 40.13 |
| 家庭内の雑談 | 2.52 | 6.18 | 5.58 | 6.20 |
| テレビ・ラジオ | 17.44 | 19.44 | 21.38 | 21.31 |
| 新聞・雑誌 | 3.55 | 5.05 | 6.04 | 5.50 |
| 読書・学習 | 9.14 | 7.02 | 9.51 | 6.30 |
| 趣味・娯楽 | 21.22 | 17.40 | 18.29 | 17.23 |
| 散歩 | .25 | .37 | 1.04 | 1.05 |
| 見物・鑑賞 | 1.16 | .31 | .57 | .31 |
| スポーツ | 5.14 | 5.23 | 3.52 | 2.11 |
| 勝負ごと | 2.00 | .51 | 1.01 | 1.56 |
| けいこ・趣味 | 5.57 | .30 | 1.24 | .43 |
| 日曜大工・庭いじり | .46 | 1.25 | 5.14 | 3.25 |
| 行楽・旅行 | 2.30 | 6.02 | 3.56 | 5.13 |
| 買物・外飲食 | 3.14 | 2.21 | 1.02 | 2.18 |
| その他 | .00 | .00 | .00 | .00 |
| 不明 | .05 | .17 | .31 | 0.08 |
| 合計 | 168.00 | 168.00 | 168.00 | 168.00 |
| 正味家庭時間 | 36.16 | 34.48 | 26.45 | 28.16 |
| 総数 | 11 | 37 | 50 | 48 |

表12. 1都3県船員の年令別生活時間の増減表

(時間・分)

| 年令別 | 30才未満 | 30才以上 | | 40才以上 | | 50才以上 | |
|-----------|-------|-------|------|-------|------|-------|------|
| | | 増加 | 減少 | 増加 | 減少 | 増加 | 減少 |
| 生理 | | .17 | | 5.54 | | 4.28 | |
| すいみん | 2.26 | | | 2.43 | | 2.32 | |
| 食事・身仕度 | .06 | | | 2.03 | | .38 | .43 |
| 休息・ごろね | | 2.15 | | 1.52 | | 2.13 | .25 |
| 通院治療 | | .34 | .45 | | .55 | | 1.34 |
| 家事 | .55 | | .44 | | 1.49 | | .39 |
| 子供の世話・相手 | 1.15 | | .08 | | .27 | | .11 |
| 家事雑事・用たし | 1.27 | | 2.13 | | 1.14 | | 1.23 |
| 家屋の普請 | | 1.47 | | 1.38 | .08 | | .55 |
| 仕事 | 2.11 | | 1.15 | | 3.34 | | 5.31 |
| 職業的仕事 | 3.21 | | | .14 | 2.44 | | 4.33 |
| 内職的仕事 | | 1.11 | 1.29 | | .48 | | .58 |
| 交際 | 2.18 | | 3.44 | | | 4.50 | |
| 他家への手伝い | | .18 | | 1.36 | .22 | | |
| 個人的つきあい | 3.26 | | 3.06 | | | 4.14 | .01 |
| 社会的つきあい | | .51 | 2.11 | | | .58 | 1.12 |
| 休養・教養 | 1.18 | | | .51 | 2.41 | | 2.45 |
| 家庭内の雑談 | | 3.11 | .15 | | | 2.26 | |
| テレビ・ラジオ | | 2.16 | | .16 | .07 | | .19 |
| 新聞・雑誌 | 1.13 | | | .08 | 1.01 | | 2.18 |
| 読書・学習 | 5.32 | | | .42 | 3.58 | | 4.09 |
| 趣味・娯楽 | | 6.32 | .42 | | .40 | | 3.47 |
| 散歩 | | 1.06 | | .44 | .24 | | .25 |
| 見物・鑑賞 | | .15 | .21 | | .47 | | |
| スポーツ | 3.13 | | 3.42 | | 1.00 | | .10 |
| 勝負ごと | | 3.03 | | .10 | | .10 | 1.35 |
| けいこ・趣味 | 4.36 | | | 1.01 | .03 | | |
| 日曜大工・庭いじり | .36 | | | .26 | .11 | | .33 |
| 行楽・旅行 | | 8.46 | | .41 | 1.04 | | |
| 買物・外飲食 | | 1.38 | .09 | | | 2.20 | |
| その他 | | .10 | | .31 | | .21 | |
| 不明 | .05 | | .17 | | .31 | | .08 |
| 正味家庭外時間 | | 18.07 | 7.46 | | | 5.00 | 2.59 |

である。このように、30才未満と同様に、生活時間構成に大きな変化がみられ、前回みられた特徴はほとんどなくなった。

(5) まとめ

前回調査において、それぞれの年代層において、それぞれに特徴的な生活行動に、多くの時間量が消費されていた。しかし、今回調査においては、すべての年令層における職業的仕事の増加やいろいろな生活行動への拡がり、そして30才代未満船員の行楽・旅行の減少のなかで、それぞれの年令層個別の構成を残しながらも、今回調査は前回調査にくらべそれぞれの生活時間構成の格差は、かなり縮小している。

(b) 石川県船員

(1) 30才未満船員

前回調査における30才未満の石川県船員の生活時間構成は、他の石川県船員にくらべて、1都3県船員と同様に若者の行動がみられたが、1都3県船員にくらべれば若者の行動の時間量はかなり少ないという特徴がみられた。前回調査にくらべ時間量が増加した生活行動は、表13. 14にみると、個人的つきあい10時間20分、社会的つきあい6時間27分、他家への手伝い4時間50分、家事雑事・用たし4時間32分、すいみん3時間02分である。逆に、それが減少しているものは、食事・身仕度6時間54分、休息・ごろね3時間59分など、広範な行動にわたっている。その結果、30才未満船員の交際的時間は34時間24分となり、他にくらべ3倍の時間量となつたが、その他の行動は他と同様な時間量となり、特徴がみられなくなった。

(2) 30才代船員

前着調査における30才代の石川県船員の生

活時間の特徴は、1都3県船員とほぼ同じであったが、内職的仕事がひじょうに多いことが、すぐれた特徴であった。前回調査にくらべ時間量が増加した生活行動は、家事雑事・用たし4時間16分、子供の世話・相手3時間19分、個人的つきあい2時間15分である。逆に、それが減少したものは、内職的仕事6時間54分のほか、家庭内の雑談、新聞・雑誌、行楽・旅行など、広範にわたっている。このように、30才代船員は、従来にくらべよりいっそ家事型生活となつていった。

(3) 40才代船員

前回調査における40才代の石川県船員の生活時間の特徴は、他にくらべ、家屋の普請、他家への手伝い、日曜大工・庭いじりについやす時間が多かった。前回調査にくらべ時間量が増加した生活行動は、家事雑事・用たし3時間23分、内職的仕事3時間14分などである。逆に、それが減少したものは、他家への手伝い3時間50分、家屋の普請2時間48分、日曜大工・庭いじり2時間24分などである。その結果、前回調査にみられた特徴はほとんどなくなった。

(4) 50才代船員

前回調査における50才代の石川県船員の生活時間の特徴は、他にくらべ、家事雑事・用たし、個人的つきあい、テレビ・ラジオ、勝負ごとについやす時間が多いことであった。前回調査にくらべ時間量が増加した生活行動は、職業的仕事9時間19分、他家への手伝い2時間35分や、生理的時間である。逆に、それが減少したものは、スポーツ4時間57分、個人的つきあい4時間23分、内職的仕事3時間29分、などである。職業的仕事の増加のなかで、趣味娯楽的時間はひじょうに縮減していくことにな

表13. 石川県の年令別生活時間(週) -1978-

(時間・分)

| 年令別 | 30才未満 | 30才代 | 40才代 | 50才代 |
|-----------|--------|--------|--------|--------|
| 家庭内外 | 計 | 計 | 計 | 計 |
| 生理 | 76.30 | 83.44 | 83.18 | 86.00 |
| すいみん | 76.12 | 61.39 | 61.22 | 61.26 |
| 食事・身仕度 | 8.24 | 16.16 | 17.38 | 16.08 |
| 休息・ごろね | 1.54 | 4.37 | 3.06 | 4.08 |
| 通院治療 | .00 | 1.11 | 1.12 | 4.19 |
| 家事 | 9.36 | 18.35 | 16.28 | 12.53 |
| 子供の世話・相手 | .12 | 7.21 | 3.46 | 2.53 |
| 家事雑事・用たし | 9.24 | 9.39 | 9.06 | 8.34 |
| 家屋の普請 | .00 | 1.35 | 3.36 | 1.26 |
| 仕事 | 4.54 | 6.25 | 10.48 | 14.04 |
| 職業的仕事 | .00 | 1.23 | .00 | 9.19 |
| 内職的仕事 | 4.54 | 5.02 | 10.48 | 4.45 |
| 交際 | 34.24 | 13.30 | 12.02 | 12.49 |
| 他家の手伝い | 5.30 | 2.11 | .54 | 3.15 |
| 個人的つきあい | 21.36 | 10.39 | 7.52 | 8.23 |
| 社会的つきあい | 7.18 | .39 | 3.16 | 1.11 |
| 休養・教養 | 36.06 | 40.07 | 37.26 | 38.53 |
| 家庭内の雑談 | 5.00 | 6.00 | 7.34 | 5.19 |
| テレビ・ラジオ | 26.42 | 25.51 | 23.30 | 29.19 |
| 新聞・雑誌 | 4.24 | 2.49 | 5.34 | 3.26 |
| 読書・学習 | .00 | 5.28 | .48 | .49 |
| 趣味・娯楽 | 6.03 | 5.39 | 7.58 | 3.23 |
| 散歩 | .00 | .00 | .20 | .08 |
| 見物・鑑賞 | .00 | .21 | .00 | .00 |
| スポーツ | .00 | 1.21 | .36 | .26 |
| 勝負ごと | 2.18 | 1.28 | 1.20 | .23 |
| けいこ・趣味 | .12 | .11 | 1.18 | .00 |
| 日曜大工・庭いじり | 2.24 | 1.05 | 1.28 | 1.08 |
| 行楽・旅行 | .54 | .00 | 1.42 | 1.19 |
| 買物・外飲食 | .42 | 1.14 | 1.14 | .00 |
| その他 | .00 | .00 | .00 | .00 |
| 不明 | .00 | .00 | .00 | .00 |
| 合計 | 168.00 | 168.00 | 168.00 | 168.00 |
| 正味家庭時間 | 31.54 | 21.32 | 14.56 | 14.23 |
| 総数 | 5 | 13 | 15 | 8 |

表14. 石川県船員の年令別生活時間の増減表

(時間・分)

| 年令別 | 30才未満 | | 30才以上 | | 40才以上 | | 50才以上 | |
|-----------|-------|-------|-------|------|-------|------|-------|------|
| | 増加 | 減少 | 増加 | 減少 | 増加 | 減少 | 増加 | 減少 |
| 生理 | | 10.12 | 1.55 | | | .52 | 6.42 | |
| すいみん | 3.02 | | | .01 | | .38 | 1.47 | |
| 食事・身仕度 | | 6.54 | .58 | | .40 | | 1.20 | |
| 休息・ごろね | | 3.59 | 2.16 | | .04 | | 1.26 | |
| 通院治療 | | 2.21 | | 1.20 | | 1.00 | 2.07 | |
| 家事 | 1.02 | | 5.49 | | 1.31 | | | .23 |
| 子供の世話・相手 | | 2.19 | 3.19 | | .54 | | 1.52 | |
| 家事雑事・用たし | 4.32 | | 4.16 | | 3.23 | | | 1.31 |
| 家屋の普請 | | 1.11 | | 1.47 | | 2.48 | | .46 |
| 仕事 | | 2.00 | | 5.41 | 3.14 | | 5.50 | |
| 職業的仕事 | | .31 | 1.13 | | | | 9.19 | |
| 内職的仕事 | | 2.54 | | 6.54 | 3.14 | | | 3.29 |
| 交際 | 21.38 | | 1.54 | | | 3.16 | | 2.29 |
| 他家の手伝い | 4.50 | | .30 | | | 3.50 | 2.35 | |
| 個人的つきあい | 10.20 | | 2.15 | | | .12 | | 4.23 |
| 社会的つきあい | 6.27 | | | .52 | .45 | | | .40 |
| 休養・教養 | | 2.33 | | 4.35 | 1.29 | | | 4.48 |
| 家庭内の雑談 | | 3.14 | | 1.44 | 1.31 | | | 2.25 |
| テレビ・ラジオ | 1.30 | | .08 | | | 1.42 | | 1.06 |
| 新聞・雑誌 | .32 | | | 1.44 | 1.22 | | | .36 |
| 読書・学習 | | 1.21 | | 1.15 | .17 | | | .42 |
| 趣味・娯楽 | | 8.24 | .36 | | | 2.07 | | 4.31 |
| 散歩 | | .21 | | .10 | | .20 | .08 | |
| 見物・鑑賞 | | .31 | .21 | | | | | |
| スポーツ | | 1.51 | .50 | | | 1.55 | | 4.57 |
| 勝負ごと | | 1.44 | .48 | | .49 | | | .17 |
| けいこ・趣味 | | 3.10 | .01 | | .57 | | | |
| 日曜大工・庭いじり | 2.03 | | | .56 | | 2.24 | | .23 |
| 行楽・旅行 | | 3.08 | | 1.21 | 1.02 | | .58 | |
| 買物・外飲食 | .42 | | 1.14 | | | .07 | | |
| その他 | — | | | .10 | | .10 | — | |
| 不明 | — | | — | | — | | | .21 |
| 正味家庭外時間 | 7.23 | | 3.04 | | | 6.15 | | 3.06 |

つてゐる。

(5) ま と め

石川県船員は、30才未満の生活時間構成が変化したことや、すべての年令層における仕事的時間の変動を通じて、すべての年令層の構成がより類似的となつてゐた。

(c) 居住地別比較

こうした前回調査と今回調査との比較の結果として、年令層別の居住地別生活時間構成は、従来にくらべさらに大きなものとなつてゐる。

6. 曜日別生活時間

(a) 1都3県船員

前回調査における1都3県船員の曜日別生活時間構成の特徴は、平日は休日（日曜・祭日）にくらべ個人的つきあい、行楽・旅行および買物・外飲食という生活行動の時間量が多く、逆に家事雑事・用たし、家屋の普請が少ないことであった。

(1) 平 日

前回調査にくらべ今回調査において、その時間量が増加している生活行動は、表15.16にみるように、職業的仕事3時間47分、読書・学習2時間58分、家事雑事・用たし1時間27分、スポーツ1時間21分である。逆に、それが減少しているのは、すいみん2時間05分、家庭内の雑談1時間35分、休息・ごろね1時間38分、個人的つきあい1時間22分などである。要するに、前回にくらべ今回は、仕事的時間が増加したことにより、いわばより平日の性格が強まったようである。

(2) 休 日

前回調査にくらべ今回調査において、その時間量が増加している生活行動は、家事雑事・用たし2時間35分、スポーツ2時間02分、読

書・学習1時間40分、社会的つきあい1時間となっている。逆に、それが減少しているのは、行楽・旅行5時間56分、買物・外飲食2時間30分などである。要するに、前回にくらべ今回は、休日的な行動の構成が大きく変化した。前回調査において大宗的な行動であった行楽・旅行や買物・外飲食が大幅に減少したことにおいて、今回の休日の生活時間構成の休日の性格は弱まったことになる。

(3) ま と め

前回にくらべ今回の曜日別生活時間構成は、たとえば趣味・娯楽的時間が平日19時間43分、休日17時間41分（前回18時間29分、24時間12分）と逆転し、かつ接近していることを典型とするように、休日の性格が弱まったため平日と休日との格差は縮小している。

(b) 石川県船員

前回調査における1都3県船員の曜日別生活時間構成の特徴は、平日は休日にくらべ、家屋の普請、勝負ごとおよび行楽・旅行といった生活行動の時間量が多く、逆にすいみん、個人的つきあいおよび読書・学習が少ないことであった。

(1) 平 日

前回調査にくらべ今回調査において、その時間量が増加している生活行動は、家事雑事・用たし3時間58分、職業的仕事2時間08分、子供の世話・相手1時間16分となっている。逆に、それが減少しているのは、内職的仕事2時間37分、読書・学習1時間16分などをはじめ、休養・教養、趣味・娯楽のおおむねの生活行動である。要するに、今回は前回にくらべ家事的行動が増加したことになっている。

(2) 休 日

表15. 曜日別生活時間(週) - 1978 -

(時間・分)

| 居住地 | 1都3県 | | 石川県 | |
|-----------|--------|--------|--------|--------|
| 曜日別 | 平日 | 休日 | 平日 | 休日 |
| 生理 | 77.33 | 76.58 | 83.24 | 81.35 |
| すいみん | 57.54 | 59.53 | 61.47 | 63.40 |
| 食事・身仕度 | 15.36 | 14.55 | 15.59 | 14.35 |
| 休息・ごろね | 2.14 | 1.34 | 3.41 | 3.20 |
| 通院治療 | 1.49 | .37 | 1.56 | .00 |
| 家事 | 16.13 | 16.01 | 16.08 | 12.25 |
| 子供の世話・相手 | 3.40 | 4.37 | 4.08 | 5.10 |
| 家事雑事・用たし | 9.51 | 8.59 | 9.41 | 6.25 |
| 冢屋の普請 | 2.41 | 2.26 | 2.19 | .50 |
| 仕事 | 6.49 | 2.31 | 9.07 | 10.35 |
| 職業的仕事 | 5.38 | 1.19 | 2.08 | 2.55 |
| 内職的仕事 | 1.11 | 1.12 | 6.58 | 6.30 |
| 交際 | 8.56 | 12.52 | 15.06 | 17.00 |
| 他家の手伝い | .23 | .00 | 2.25 | 1.50 |
| 個人的つきあい | 7.12 | 10.25 | 10.26 | 11.00 |
| 社会的つきあい | 1.19 | 2.26 | 2.14 | 4.10 |
| 休養・教養 | 40.31 | 39.37 | 37.46 | 42.05 |
| 家庭内の雑談 | 5.49 | 6.22 | 6.12 | 7.00 |
| テレビ・ラジオ | 20.22 | 22.27 | 25.08 | 29.30 |
| 新聞・雑誌 | 5.40 | 5.16 | 4.11 | 3.50 |
| 読書・学習 | 8.41 | 5.32 | 2.16 | 1.45 |
| 趣味・娯楽 | 17.41 | 19.43 | 6.28 | 4.20 |
| 散歩 | .55 | .55 | .10 | .00 |
| 見物・鑑賞 | .28 | 1.40 | .00 | .45 |
| スポーツ | 3.52 | 3.33 | .52 | .00 |
| 勝負ごと | 1.25 | 1.07 | 1.16 | 1.30 |
| けいこ・趣味 | 1.26 | .49 | .40 | .00 |
| 日曜大工・庭いじり | 3.23 | 3.08 | 1.28 | .55 |
| 行楽・旅行 | 4.09 | 7.00 | .58 | 1.10 |
| 買物・外飲食 | 2.04 | 1.32 | 1.05 | .00 |
| その他 | .00 | .00 | .00 | .00 |
| 不明 | .17 | .18 | .00 | .00 |
| 合計 | 168.00 | 168.00 | 168.00 | 168.00 |
| 総数 | 146 | | 41 | |

表16. 曜日別生活時間の増減表

(時間・分)

| 住居地別 | 1都3県 | | | | 石川県 | | | |
|-----------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 曜日別 | 平日 | | 休日 | | 平日 | | 休日 | |
| 増減量 | 増加 | 減少 | 増加 | 減少 | 増加 | 減少 | 増加 | 減少 |
| 生理 | | 3.46 | | 3.11 | | 1.07 | 2.07 | |
| すいみん | | 2.05 | | .56 | | .33 | 2.51 | |
| 食事・身仕度 | | .32 | | .33 | .11 | | | 1.03 |
| 休息・ごろね | | 1.38 | | 1.38 | .09 | | .38 | |
| 通院治療 | .28 | | | .03 | | .56 | | .21 |
| 家事 | .45 | | 3.45 | | 4.22 | | | 3.53 |
| 子供の世話・相手 | .08 | | .25 | | 1.16 | | 1.08 | |
| 家事雑事・用たし | 1.27 | | 2.35 | | 3.58 | | .01 | |
| 家屋の普請 | | .51 | .45 | | | .53 | | 1.03 |
| 仕事 | 4.18 | | | .09 | .22 | | .50 | |
| 職業的仕事 | 3.47 | | | .53 | 2.08 | | 2.55 | |
| 内職的仕事 | .31 | | 1.02 | | | 2.37 | | 3.15 |
| 交際 | | 2.20 | .26 | | 1.09 | | 5.54 | |
| 他家への手伝い | | .28 | | 1.31 | | .27 | .29 | |
| 個人的つきあい | | 1.22 | .20 | | .51 | | 3.46 | |
| 社会的つきあい | | .32 | 1.35 | | .43 | | 1.39 | |
| 休養・教養 | 1.32 | | 3.09 | | | 3.14 | 3.46 | |
| 家庭内の雑談 | | 1.35 | | 1.02 | | .42 | | .44 |
| テレビ・ラジオ | | .48 | 1.06 | | | .35 | 4.48 | |
| 新聞・雑誌 | .57 | | 1.24 | | | .41 | | .22 |
| 読書・学習 | 2.58 | | 1.40 | | | 1.16 | .04 | |
| 趣味・娯楽 | | .48 | | 4.29 | | 1.36 | | 8.37 |
| 散歩 | .04 | | | .16 | | .11 | | .21 |
| 見物・鑑賞 | .07 | | 1.09 | | | .10 | .45 | |
| スポーツ | 1.21 | | 2.02 | | | .59 | | 2.12 |
| 勝負ごと | | .06 | | 1.14 | .15 | | | 1.12 |
| けいこ・趣味 | | .05 | | .42 | | .11 | | .51 |
| 日曜大工・庭いじり | .01 | | 1.07 | | | .33 | | 2.17 |
| 行楽・旅行 | | .34 | | 5.56 | | .23 | | 1.42 |
| 買物・外飲食 | | 1.08 | | 2.39 | .44 | | | .51 |
| その他 | | .31 | | .21 | | .10 | | |
| 不明 | .17 | | .07 | | | | | .10 |

前回調査にくらべ今回調査において、その時間量が増加している生活行動は、テレビ・ラジオ4時間48分、個人的つきあい3時間46分、職業的仕事2時間55分、すいみん2時間51分となっている。逆に、それが減少しているのは、内職的仕事3時間15分、日曜大工・庭いじり2時間17分、スポーツ2時間12分などである。要するに、趣味・娯楽的時間が大幅に減少し、交際・休養・教養的時間が増加したことが特徴的である。

(3) まとめ

前回にくらべ今回の曜日別生活時間構成は、今回、平日の家事的時間の増加、休日の休養・教養的時間の増加や趣味・娯楽的時間の減少により、それらの時間量が休日と平日とでは逆転している。そうした変化にかかわらず、平日と休日は、従来通りそれほどの格差はみられない。

(c) 居住地別比較

今回調査において、1都3県船員の平日と休日との生活時間構成の格差は縮小したが、それでもなお石川県船員との格差は縮小していない。

7. 家族型別生活時間

(a) 1都3県船員

(1) 核家族

前回調査における1都3県の核家族船員の生活時間構成の特徴は、大家族にくらべ、子供の世話・相手、日曜大工・庭いじりが多く、逆に行楽・旅行・買物・外飲食が少ないことであったが、決定的な格差ではなかったことであった。前回調査にくらべ今回調査の時間量が増加している。生活行動は、表17.18にみるとおり、職業的仕事3時間27分、読書・学習2時間35分であり、逆にそれが減少しているのはすいみん2時間09分をはじめ、広範な行動にわたつ

ている。要するに、職業的仕事が増加した以外には、決定的な変化はみられなかった。

(2) 大家族

前回調査における1都3県の大家族船員の生活時間構成の特徴は、核家族にくらべ、核家族のところでのべた逆の傾向がみられる。前回調査にくらべ今回調査の時間量が増加している生活行動は、家事雑事・用なし4時間29分、子供の世話・相手3時間26分、スポーツ2時間38分であり、逆にそれが減少しているのは休息・ごろね2時間57分、家庭内の雑談2時間39分、家屋の普請2時間20分、個人的つきあい2時間18分、買物・外飲食2時間17分である。その結果、大家族は核家族にくらべ、家事的時間は前回調査においては後者が多かつたが、今回調査においては前者が多くなり、逆に休養・教養的時間は前回ほど同じであったが、今回においては前者がかなり少なくなっている。

(3) 独身者

前回調査における1都3県の独身船員は、核家族や大家族にくらべ、余暇的行動が10数時間も多いことにおいて、かなり異質な生活時間構成となっていた。前回調査にくらべ時間量の増加した生活行動は、読書・学習5時間39分、職業的仕事5時間02分、個人的つきあい4時間58分、けいこ・趣味4時間36分、スポーツ2時間21分である。逆に、それが減少しているのは、行楽・旅行11時間23分、休息・ごろね2時間34分、家屋の普請2時間34分、勝負ごと2時間06分である。こうした大きな変化により、独身船員は他にくらべ、いまなお余暇的行動が多いとはいえ、かなり類似する生活時間構成となつた。

(4) まとめ

表17 1都3県の家族型別生活時間(週) -1978-

(時間・分)

| 家族型別 | 核家族 | 大家族 | 独身者 |
|-----------|--------|--------|--------|
| 家庭内外 | 計 | 計 | 計 |
| 生 理 | 77.11 | 78.11 | 77.38 |
| すいみん | 57.50 | 58.59 | 63.04 |
| 食事・身仕度 | 15.28 | 16.06 | 12.26 |
| 休息・ごろね | 2.04 | 2.16 | 1.26 |
| 通院治療 | 1.49 | .50 | 43 |
| 家 事 | 15.56 | 19.11 | 6.22 |
| 子供の世話・相手 | 3.46 | 5.07 | 00 |
| 家事雑事・用たし | 9.00 | 12.43 | 6.13 |
| 家屋の普請 | 3.10 | 1.22 | 08 |
| 仕 事 | 6.05 | 4.25 | 8.52 |
| 職業的仕事 | 5.08 | 2.22 | 8.04 |
| 内職的仕事 | .58 | 2.03 | 47 |
| 交 際 | 9.41 | 9.06 | 14.45 |
| 他家への手伝い | .25 | .00 | 00 |
| 個人的つきあい | 7.48 | 6.46 | 14.43 |
| 社会的つきあい | 1.26 | 2.20 | 00 |
| 休養・教養 | 41.17 | 37.23 | 38.34 |
| 家庭内の雑談 | 6.14 | 5.25 | 3.43 |
| テレビ・ラジオ | 21.13 | 20.11 | 17.26 |
| 新聞・雑誌 | 5.52 | 4.28 | 6.04 |
| 読書・学習 | 7.58 | 7.19 | 11.22 |
| 趣味・娯楽 | 17.35 | 19.10 | 21.52 |
| 散 歩 | .55 | 1.04 | 08 |
| 見物・鑑賞 | .41 | .44 | 1.26 |
| ス ポーツ | 3.34 | 4.19 | 5.13 |
| 勝負ごと | 1.30 | .49 | 1.26 |
| けいこ・趣味 | 1.05 | .59 | 5.13 |
| 日曜大工・庭いじり | 3.42 | 2.41 | 1.26 |
| 行楽・旅行 | 4.19 | 6.40 | 3.34 |
| 買物・外飲食 | 1.50 | 1.55 | 3.52 |
| そ の 他 | .00 | .00 | 00 |
| 不 明 | .14 | .33 | 00 |
| 合 計 | 168.00 | 168.00 | 168.00 |
| 正味家庭時間 | 28.24 | 34.17 | 36.09 |
| 総 数 | 108 | 31 | 7 |

表18. 1都3県船員の家族型別生活時間の増減表

(時間・分)

| 家族型別 | 核家族 | | 大家族 | | 独身者 | | |
|-----------|-------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| | 増 減 量 | 増 加 | 減 少 | 増 加 | 減 少 | 増 加 | 減 少 |
| 生理 | | | 4.08 | | 2.58 | | 3.01 |
| すいみん | | | 2.09 | 41 | | | .57 |
| 食事・身仕度 | | | 1.10 | | .12 | .30 | |
| 休息・ごろね | | | 1.18 | | 2.57 | | 2.56 |
| 通院治療 | .28 | | | | .31 | .22 | |
| 家事 | | .02 | | 5.34 | | | 2.53 |
| 子供の世話・相手 | | | .47 | 3.26 | | | .51 |
| 家事雑事・用たし | .46 | | | 4.29 | | .30 | |
| 家屋の普請 | .02 | | | | 2.20 | | 2.34 |
| 仕事 | 3.54 | | | 2.34 | | 5.20 | |
| 職業的仕事 | 3.27 | | | 1.11 | | 5.02 | |
| 内職的仕事 | .27 | | | 1.23 | | .16 | |
| 交際 | | 1.25 | | | 4.21 | 3.37 | |
| 他家への手伝い | | | .26 | | 1.41 | | .31 |
| 個人的つきあい | | | .57 | | 2.18 | 4.58 | |
| 社会的つきあい | | .05 | | | .22 | | .57 |
| 休養・教養 | 1.38 | | | | 1.36 | 6.28 | |
| 家庭内の雑談 | | | 1.30 | | 2.39 | | .39 |
| テレビ・ラジオ | | .38 | | 31 | | | 2.04 |
| 新聞・雑誌 | 1.09 | | | | .45 | 3.33 | |
| 読書・学習 | 2.35 | | | 1.16 | | 5.39 | |
| 趣味・娯楽 | | .14 | | 10 | | | 9.33 |
| 散歩 | .04 | | | | .17 | | 1.33 |
| 見物・鑑賞 | .31 | | | .04 | | .35 | |
| スポーツ | 1.03 | | | 2.38 | | 2.21 | |
| 勝負ごと | .09 | | | | .42 | | 2.06 |
| けいこ・趣味 | | .26 | | | .52 | 4.36 | |
| 日曜大工・庭いじり | | .20 | | 1.00 | | .26 | |
| 行楽・旅行 | .27 | | | 47 | | | 11.23 |
| 買物・外飲食 | | | 1.02 | | 2.17 | | 1.21 |
| その他 | | .40 | | | .10 | | |
| 不明 | .14 | | | 33 | | | |
| 正味家庭外時間 | .21 | | | 3.44 | | | 15.46 |

したがって、今回調査においては、いまなお家族型別の特徴が残っているものの、かなり類似した生活時間構成をとるようになった。

(b) 石川県船員

(1) 核 家 族

前回調査における石川県の核家族船員の生活時間構成の特徴は、表19・20にみるとおりに、大家族にくらべ交際的時間（主として個人的つきあい）や休養・教養的時間（主としてテレビ・ラジオ）が多いことであった。前回調査にくらべ増加した生活行動は、家事雑事・用たし4時間01分、職業的仕事3時間16分、子供の世話・相手2時間21分、食事・身仕度2時間14分となっている。逆に、それが減少しているのは、個人的つきあい6時間06分、家庭内の雑談2時間46分、日曜大工・庭いじり2時間26分、テレビ・ラジオ2時間06分となっている。こうしたことにより、核家族船員は従来にくらべ、家事的行動に多くの時間をついやすことになった。

(2) 大家族船員

前回調査における石川県の大家族船員の生活時間の構成の特徴は、核家族船員にくらべ内職的仕事が多いことであった。前回調査にくらべ増加した生活行動は、家事雑事・用たし3時間25分、個人的つきあい2時間08分であり、逆にそれが減少しているのは家屋の普請3時間14分、読書・学習2時間18分、スポーツ2時間02分、内職的仕事1時間58分である。いろいろな変化はみられたが、生活時間構成やその特徴を大きく変えるものとはなりえなかつた。

(3) 独 身 者

前回調査における石川県の独身船員の生活時

間構成の特徴は、核家族や大家族にくらべ、趣味・娯楽的時間（主として勝負ごと・けいこ・趣味、行楽・旅行）が多いことであった。今回調査は、サンプルが少ないため比較になりえないが、前回調査にくらべ個人的つきあい、テレビ・ラジオ・買物・外飲食が増加しており、逆に内職的仕事・勝負ごと・けいこ・趣味、食事・身仕度、行楽・旅行が減少している。その結果、独身船員は、核家族や大家族とあまりかわらない生活時間構成となってしまっている。

(4) ま と め

したがって、今回調査においても、いまなお家族型別の特徴を残っているものの、かなり類似した生活時間構成となってしまった。

(c) 居住地別比較

今回調査において、石川県の核家族・大家族の家事雑事・用たしが増加したことにより、その家事的時間は1都3県船員とほぼ同じ量となった。しかし、いまなお、余暇的時間については大きなひらきがあり、従来通りの格差がある。

8. 調査時点別生活時間

(a) 1都3県船員

前回調査における1都3県船員の調査時点別生活時間構成の特徴は、前期から後期にかけて、家事雑事・用たしが増加し、逆に行楽・旅行、買物・外飲食が減少するということであり、家庭外行動から家庭内行動へ、積極的行動から消極的行動へ移行しているとまとめられた。

(1) 前 期

前回調査にくらべ時間量が増加している生活行動は、表21・22にみるとおりに、職業的仕事3時間19分、テレビ・ラジオ2時間51分、家事雑事・用たし1時間59分であり、逆にそれが減少しているのはすいみん2時間24分、

表19. 石川県の家族型別生活時間(週) -1978-

(時間・分)

| 家族型別 | 核家族 | 大家族 | 独身者 |
|-----------|--------|--------|--------|
| 家庭内外 | 計 | 計 | 計 |
| 生理 | 82.30 | 83.47 | 80.30 |
| すいみん | 61.19 | 61.58 | 66.10 |
| 食事・身仕度 | 17.11 | 15.49 | 9.20 |
| 休息・ごろね | 3.07 | 3.44 | 5.00 |
| 通院治療 | .53 | 2.16 | .00 |
| 家事 | 20.14 | 14.22 | 5.50 |
| 子供の世話・相手 | 6.23 | 3.14 | 4.00 |
| 家事雑事・用たし | 10.44 | 9.18 | 1.50 |
| 家屋の普請 | 3.07 | 1.49 | .00 |
| 仕事 | 7.11 | 11.08 | 3.30 |
| 職業的仕事 | 3.16 | 2.00 | .00 |
| 内職的仕事 | 3.55 | 9.08 | 1.10 |
| 交際 | 12.07 | 15.05 | 32.00 |
| 他家への手伝い | 1.28 | 3.04 | .00 |
| 個人的つきあい | 8.32 | 9.12 | 30.10 |
| 社会的つきあい | 2.07 | 2.49 | 1.50 |
| 休養・教養 | 41.25 | 36.47 | 38.50 |
| 家庭内の雑談 | 4.55 | 7.20 | 3.50 |
| テレビ・ラジオ | 27.39 | 24.24 | 29.00 |
| 新聞・雑誌 | 4.30 | 3.48 | 5.20 |
| 読書・学習 | 4.21 | 1.14 | .40 |
| 趣味・娯楽 | 4.32 | 6.52 | 7.20 |
| 散歩 | .28 | .00 | .00 |
| 見物・鑑賞 | .00 | .11 | .00 |
| スポーツ | 1.02 | .40 | .00 |
| 勝負ごと | .14 | 1.46 | 2.10 |
| けいこ・趣味 | .07 | .52 | .00 |
| 日曜大工・庭いじり | 1.16 | 1.37 | .00 |
| 行楽・旅行 | 1.02 | .54 | 1.30 |
| 買物・外飲食 | .23 | .53 | 3.40 |
| その他 | .00 | .00 | .00 |
| 不明 | .00 | .00 | .00 |
| 合計 | 168.00 | 168.00 | 168.00 |
| 正味家庭時間 | 18.16 | 17.34 | 34.00 |
| 総数 | 13 | 25 | 3 |

表20. 石川県船員の家族型別生活時間の増減表

(時間・分)

| 家族型別 | 核家族 | | 大家族 | | 独身者 | | |
|-----------|------|------|------|------|-------|-------|----|
| | 増減量 | 増加 | 減少 | 増加 | 減少 | 増加 | 減少 |
| 生理 | | .10 | .47 | | | 6.01 | |
| すいみん | | 1.21 | .28 | | | 3.10 | |
| 食事・身仕度 | 2.14 | | | .29 | | 5.17 | |
| 休息・ごろね | .15 | | .52 | | | 1.54 | |
| 通院治療 | | 1.19 | | .05 | | 2.01 | |
| 家事 | 7.48 | | .25 | | 1.38 | | |
| 子供の世話・相手 | 2.21 | | .12 | | 3.50 | | |
| 家事雑事・用たし | 4.01 | | 3.25 | | | 1.12 | |
| 家屋の普請 | 1.26 | | | 3.14 | | 1.01 | |
| 仕事 | 2.28 | | | .08 | | 6.25 | |
| 職業的仕事 | 3.16 | | 1.50 | | | .51 | |
| 内職的仕事 | | .48 | | 1.58 | | 7.54 | |
| 交際 | | 5.02 | 2.59 | | 2.044 | | |
| 他家の手伝い | .27 | | .02 | | | 1.21 | |
| 個人的つきあい | | 6.05 | 2.08 | | 2.055 | | |
| 社会的つきあい | .36 | | .48 | | 1.10 | | |
| 休養・教養 | | 3.37 | | 2.42 | 3.43 | | |
| 家庭内の雑談 | | 2.49 | .06 | | | 2.23 | |
| テレビ・ラジオ | | 2.06 | | .08 | 4.58 | | |
| 新聞・雑誌 | | .03 | | .24 | 1.28 | | |
| 読書・学習 | 1.19 | | | 2.18 | | .21 | |
| 趣味・娯楽 | | 1.31 | | 1.22 | | 13.40 | |
| 散歩 | .07 | | | .21 | | .10 | |
| 見物・鑑賞 | | | .11 | | | 1.01 | |
| スポーツ | .22 | | | 2.02 | | .51 | |
| 勝負ごと | .04 | | 1.06 | | | 5.44 | |
| けいこ・趣味 | | .14 | .21 | | | 4.52 | |
| 日曜大工・庭いじり | | 2.26 | | .24 | | .21 | |
| 行楽・旅行 | 1.02 | | | .37 | | 4.23 | |
| 買物・外飲食 | | .08 | .22 | | 3.40 | | |
| その他 | | .21 | | | | | |
| 不明 | | | | | | | |
| 正味家庭外時間 | | .48 | | 2.26 | .06 | | |

行楽・旅行 2 時間 0 8 分となっている。全期にわたり、行楽・旅行、買物・外飲食が減少しているが、そのなかでも前期の減少は大きい。前回調査においてみられた、前期におけるレジャー的な行動の多さはかなり弱まっている。それに対して、休養・教養的時間（主としてテレビ・ラジオ）が増加し、休養的性格が強まっているかに見える。しかし、仕事的時間が増え、生理的時間が減少しているので、からずしもそうはいえない。

(2) 中　　期

前回調査にくらべ時間量が増加している生活行動は、家事雑事・用たし 3 時間 5 9 分、読書・学習 3 時間 4 2 分、スポーツ 3 時間 1 8 分であり、逆にそれが減少しているのはテレビ・ラジオ 2 時間 5 6 分、社会的つきあい 1 時間 5 7 分、家庭内の雑談など、広範にわたっている。

(3) 後　　期

前回調査にくらべ時間量が増加した生活行動は、職業的仕事 3 時間 2 7 分、読書・学習 2 時間 2 8 分、社会的つきあい 2 時間 0 3 分であり、逆にそれが減少したのは休息・ごろね 3 時間 31 分、すいみん 1 時間 4 8 分、家庭内の雑談 1 時間 4 5 分となっている。その結果、前回調査にくらべ今回調査は、生理的時間の大幅な減少となり、逆に仕事的時間の増加が目立っている。

(4) ま　　と　め

こうしたいろいろな変化の結果、前期から後期にかけて、仕事的時間が傾向的に増加し、逆に買物・外飲食は傾向的に減少している。他方、前期に対し、中・後期にかけて、スポーツ、読書・学習はかなり増加し、逆にテレビ・ラジオは減少することになっている。その結果、前回調査でみられた特徴はほとんどみられなくなつ

た。それでも、前期は他のくらべ行楽・旅行、買物・外飲食が多いが、前回調査にくらべれば休養的性格が強まっている。また、前回調査において、中期は中だるみ的な状況はみられたが、今回調査においてはスポーツや読書・学習の増加にみるように、積極的で創意的な行動が一樣にみられるようになっている。そして、後期は仕事的時間が増加したことを含め、さらに積極的な生活となっている。したがって、1都3県船員の休暇生活は、そのすべての時期にわたって、平均的な生活時間構成となってきた。

(b) 石川県船員

前回調査における石川県船員の調査時点別生活時間構成の特徴は、1都3県とほぼ同様であったが、ただ内職的仕事は前期から後期にかけて増加していた。

(1) 前　　期

前回調査にくらべ時間量が増加している生活行動は、表 2.3. 2.4. にみるように、交際的時間 8 時間 1 4 分、家事的時間（主として子供の世話・相手）2 時間 4 2 分となっている。逆に、それが減少しているのは、休養・教養的時間（主として、読書・学習、テレビ・ラジオ）1 0 時間 4 2 分となっている。その結果、前回調査で中・後期にくらべひじょうに多かった休養・教養時間はもっとも少なくなり、あまり違わなかった交際的時間はもっとも多くなっている。このように、前回調査にくらべ今回調査の前期は、大きな変化となっている。

(2) 中　　期

前回調査にくらべ時間量が増加している生活行動は、前期とはまったく逆に、休養・教養的仕事（主として読書・学習）7 時間 0 8 分、個人的つきあい 2 時間 1 9 分となっている。それ

表21 1都3県の調査時点別生活時間(週) -1978-

(時間・分)

| 調査時点別 | 前期 | 中期 | 後期 |
|-----------|----------|----------|----------|
| 家庭内外 | 計 | 計 | 計 |
| 生 理 | 7 6.54 | 7 8.20 | 7 6.50 |
| すいみん | 5 8.25 | 5 7.57 | 5 8.41 |
| 食事・身仕度 | 1 5.05 | 1 6.14 | 1 4.53 |
| 休息・ごろね | 1.39 | 3.05 | 1.21 |
| 通院治療 | 1.45 | 1.04 | 1.55 |
| 家 事 | 1 5.41 | 1 7.45 | 1 4.50 |
| 子供の世話・相手 | 4.17 | 3.42 | 3.45 |
| 家事雑事・用たし | 8.53 | 1 1.13 | 8.36 |
| 家屋の普請 | 2.32 | 2.50 | 2.29 |
| 仕 事 | 4.30 | 5.51 | 6.58 |
| 職業的仕事 | 4.20 | 4.13 | 5.28 |
| 内職的仕事 | .10 | 1.38 | 1.31 |
| 交 際 | 1 0.56 | 7.24 | 1 1.29 |
| 他家への手伝い | 1.02 | .03 | .00 |
| 個人的つきあい | 8.44 | 6.26 | 8.52 |
| 社会的つきあい | 1.10 | .55 | 2.34 |
| 休養・教養 | 4.117 | 4 0.29 | 3 9.24 |
| 家庭内の雑談 | 6.28 | 6.08 | 5.19 |
| テレビ・ラジオ | 2 3.01 | 1 9.25 | 2 0.37 |
| 新聞・雑誌 | 5.20 | 6.02 | 5.17 |
| 読書・学習 | 6.28 | 8.55 | 8.11 |
| 趣味・娯楽 | 1 8.21 | 1 7.58 | 1 8.09 |
| 散 歩 | 1.17 | .49 | .44 |
| 見物・鑑賞 | .39 | .55 | .35 |
| ス ポーツ | 1.11 | 4.49 | 4.45 |
| 勝負ごと | 1.25 | 1.25 | 1.14 |
| けいこ・趣味 | 2.06 | .49 | 1.11 |
| 日曜大工・庭いじり | 2.42 | 3.42 | 3.25 |
| 行楽・旅行 | 5.47 | 3.41 | 5.10 |
| 買物・外飲食 | 3.14 | 1.49 | 1.05 |
| そ の 他 | .00 | 0.0 | .00 |
| 不 明 | .23 | .14 | .18 |
| 合 計 | 1 6 8.00 | 1 6 8.00 | 1 6 8.00 |
| 正味家庭時間 | 3 0.41 | 2 8.55 | 2 6.23 |
| 総 数 | 4 0 | 5 5 | 5 1 |

表22. 1都3県船員の調査時点別生活時間の増減表

(時間・分)

| 調査時点別 | 前期 | | 中期 | | 後期 | | |
|-----------|------|------|------|------|------|------|------|
| | 増減量 | 減少 | 増加 | 増加 | 減少 | 増加 | 減少 |
| 生理 | | | 4.35 | | 1.59 | | 4.59 |
| すいみん | | | 2.24 | | 1.12 | | 1.48 |
| 食事・身仕度 | | | .23 | | .44 | | .35 |
| 休息・ごろね | | | 1.43 | | .17 | | 3.31 |
| 通院治療 | | .06 | 1.3 | | | .54 | |
| 家事 | 1.34 | | | 2.57 | | | .48 |
| 子供の世話・相手 | .35 | | | | .51 | .53 | |
| 家事雑事・用たし | 1.59 | | | 3.59 | | | 1.09 |
| 家屋の普請 | | | 1.00 | | .12 | | .33 |
| 仕事 | 3.09 | | | 3.09 | | 3.36 | |
| 職業的仕事 | 3.19 | | | 1.31 | | 3.27 | |
| 内職的仕事 | | | | 1.38 | | .10 | |
| 交際 | | 1.00 | | | 4.02 | .44 | |
| 他家の手伝い | .31 | | | | 1.38 | | .31 |
| 個人的つきあい | | | 1.11 | | .28 | | .53 |
| 社会的つきあい | | .21 | | | 1.57 | 2.03 | |
| 休養・教養 | 4.39 | | | 1.0 | | .35 | |
| 家庭内の雑談 | | | .36 | | 1.56 | | 1.45 |
| テレビ・ラジオ | 2.51 | | | | 2.56 | | .44 |
| 新聞・雑誌 | 1.08 | | | 1.19 | | .34 | |
| 読書・学習 | 1.15 | | | 3.42 | | 2.28 | |
| 趣味・娯楽 | | | 4.00 | | .31 | .30 | |
| 散歩 | .37 | | | | .02 | | .37 |
| 見物・鑑賞 | .29 | | | | .26 | .25 | |
| スポーツ | | | 1.10 | 3.18 | | 1.43 | |
| 勝負ごと | | | .26 | | .56 | .34 | |
| けいこ・趣味 | .25 | | | | .22 | | .30 |
| 日曜大工・庭いじり | | .10 | | | .20 | .33 | |
| 行楽・旅行 | | 2.07 | 0.9 | | | .18 | |
| 買物・外飲食 | | 1.08 | | | 1.13 | | 1.37 |
| その他 | | .31 | | | .40 | | .21 |
| 不明 | .13 | | | 1.14 | | .18 | |
| 正味家庭外時間 | | | 7.37 | 1.42 | | | .50 |

表23. 石川県の調査時点別生活時間(週) -1978-

(時間・分)

| 調査時点別 | 前期 | 中期 | 後期 |
|-----------|--------|--------|--------|
| | 計 | 計 | 計 |
| 家庭内外 | | | |
| 生理 | 79.38 | 84.40 | 84.19 |
| すいみん | 61.08 | 62.34 | 62.20 |
| 食事・身仕度 | 14.52 | 16.37 | 15.54 |
| 休息・ごろね | 1.49 | 2.20 | 5.08 |
| 通院治療 | 1.49 | 3.10 | .56 |
| 家事 | 16.19 | 12.04 | 16.44 |
| 子供の世話・相手 | 5.41 | 2.50 | 4.11 |
| 家事雑事・用たし | 7.46 | 7.26 | 10.43 |
| 家屋の普請 | 2.52 | 1.47 | 1.50 |
| 仕事 | 8.08 | 5.53 | 11.26 |
| 職業的仕事 | .00 | .13 | 4.19 |
| 内職的仕事 | 8.08 | 5.40 | 6.47 |
| 交際 | 23.11 | 12.17 | 12.37 |
| 他家の手伝い | 6.14 | 1.17 | .44 |
| 個人的つきあい | 12.44 | 10.13 | 9.30 |
| 社会的つきあい | 4.14 | .47 | 2.23 |
| 休養・教養 | 34.00 | 46.37 | 37.11 |
| 家庭内の雑談 | 5.00 | 9.34 | 5.37 |
| テレビ・ラジオ | 22.46 | 25.30 | 27.27 |
| 新聞・雑誌 | 5.33 | 3.53 | 3.30 |
| 読書・学習 | .41 | 7.40 | .37 |
| 趣味・娯楽 | 6.44 | 6.30 | 5.43 |
| 散歩 | .27 | .00 | .03 |
| 見物・鑑賞 | .00 | .00 | .13 |
| スポーツ | .11 | .23 | 1.10 |
| 勝負ごと | 1.03 | 1.40 | 1.17 |
| けいこ・趣味 | .14 | .07 | .56 |
| 日曜大工・庭いじり | 1.19 | 2.13 | 1.04 |
| 行楽・旅行 | 2.11 | 1.10 | .17 |
| 買物・外飲食 | 1.19 | .56 | .43 |
| その他 | .00 | .00 | .00 |
| 不明 | .00 | .00 | .00 |
| 合計 | 168.00 | 168.00 | 168.00 |
| 正味家庭時間 | 23.38 | 20.03 | 16.15 |
| 総数 | 11 | 8 | 21 |

表24. 石川県船員の調査時点別生活時間の増減表

(時間・分)

| 調査時点別 | 前期 | | 中期 | | 後期 | |
|-----------|------|-------|------|------|------|------|
| | 増加量 | 減少 | 増加 | 減少 | 増加 | 減少 |
| 生理 | | | | | | |
| すいみん | .49 | 1.21 | 1.00 | | | .42 |
| 食事・身仕度 | | .56 | .49 | | .06 | .40 |
| 休息・ごろね | | 1.03 | .52 | | 1.16 | |
| 通院治療 | | .12 | .49 | | | 1.25 |
| 家事 | 2.42 | | | 3.44 | 8.20 | |
| 子供の世話・相手 | 2.39 | | | 1.43 | 2.30 | |
| 家事雑事・用たし | 1.03 | | 1.02 | | 6.31 | |
| 家屋の普請 | | 1.00 | | 3.05 | | .41 |
| 仕事 | 2.05 | | | 1.01 | | 2.51 |
| 職業的仕事 | | | .13 | | 3.48 | |
| 内職的仕事 | 2.05 | | | 1.14 | | 7.00 |
| 交際 | 8.14 | | 1.01 | | | 1.20 |
| 他家の手伝い | 3.02 | | .24 | | | 2.08 |
| 個人的つきあい | 3.39 | | 2.19 | | .15 | |
| 社会的つきあい | 2.33 | | | .54 | .32 | |
| 休養・教養 | | 10.42 | 7.08 | | | .47 |
| 家庭内の雑談 | | 2.54 | 2.10 | | | .36 |
| テレビ・ラジオ | | 4.07 | 1.28 | | 1.44 | |
| 新聞・雑誌 | 1.41 | | | 2.40 | | .11 |
| 読書・学習 | | 5.22 | 6.09 | | | 1.44 |
| 趣味・娯楽 | | 1.00 | | 4.15 | | 2.41 |
| 散歩 | .17 | | | .31 | | .28 |
| 見物・鑑賞 | | | | | | .08 |
| スポーツ | | 1.30 | | 1.08 | | 1.11 |
| 勝負ごと | | .58 | | .01 | .46 | |
| けいこ・趣味 | | .26 | | 1.24 | .25 | |
| 日曜大工・庭いじり | | 1.02 | | .39 | | .17 |
| 行楽・旅行 | 1.31 | | | 1.02 | | 1.24 |
| 買物・外飲食 | 1.09 | | .35 | | | .18 |
| その他 | | | | .10 | | .10 |
| 不明 | | | | .10 | | |
| 正味家庭外時間 | 1.00 | | | 1.02 | | 4.15 |

に対して、それが減少しているのは、家屋の普請3時間05分、新聞・雑誌2時間40分のはか、趣味・娯楽的時間4時間15分となっている。その結果、前回調査において、他にくらべかなり多かった趣味・娯楽的時間は前・後期と同じとなり、休養・教養時間は読書・学習を中心とし、前・後期にくらべはるかに多くなっている。

(3) 後期

前回調査にくらべ時間量が増加している生活行動は、家事的時間（主として家事雑事・用なし）8時間20分、職業的仕事3時間48分となっている。逆に、それが減少しているのは、内職的仕事7時間、他家の手伝い2時間08分などとなっている。そのため、前回調査においてもっとも少なかった家事的時間は、前期とはほぼ同じ大きなものとなり、もっとも多かった仕事的時間はそれほど大きなものではなくった。

(4) まとめ

このように、石川県船員は1都3県船員にくらべ、かなり大きな変化をみせることになった。その結果、前期から後期にかけて、個人的つきあい、行楽・旅行、買物・外飲食は減少し、逆に休息・ごろね、テレビ・ラジオは増加するようになつた。また、内職的仕事はあらゆる時期にかけて、平均的にみられるようになった。そのため、前回調査でみられた特徴は、むしろよりいっそう強まり、前期においてより積極的な行動がみられ、中・後期になるほどより消極的な行動がみられるようになっている。

(e) 居住地別比較

こうした変化によって、1都3県船員と石川県船員とでは大きな格差をみせるようになった。

1都3県船員は、職業的仕事時間に規定されながらも、すべての時期にわたって同じような構成をみせるようになつたが、石川県船員は時期によってかなりの違う構成となっている。

9. 意識別生活時間

今回調査において、新しい試みとして、休暇生活をより有意義に活用するために不足しているものは何かという設問に対して、対象者が行なつた回答意識別に集計してみた。

(a) 1都3県船員

1都3県船員の場合、表25にみるとおり、その回答は「お金」と「本人の心がまえ」に大きく分かれている。お金不足船員は心がまえ船員にくらべて、テレビ・ラジオ3時間21分、職業的仕事2時間25分が多く、逆に読書・学習2時間、行楽・旅行1時間45分をはじめ趣味・娯楽的時間全体で3時間47分が少ない。心がまえ船員は、お金不足船員にくらべ、余暇的行動をより多く行なつていていることになっている。

(b) 石川県船員

石川県船員の場合、回答は表26にみるとおり、「お金」、「施設やサービス」、「本人の心がまえ」に分かれている。お金不足船員を中心みてみると、他にくらべ、仕事的時間、行楽・旅行、読書・学習、買物・外飲食が少なく、逆に個人的つきあい、スポーツ、けいこ・趣味が多い。すなわち、お金不足船員は金銭消費的な行動の少なさとなってあらわれている。石川県船員の場合、その富来町という居住地域における都会的な施設・サービスの不足が、それなりに意職を規定し、それにそって生活行動が行なわれているかにみえる。また、内職的仕事の有無が、かなり関与しているようである。

(c) 居住地別比較

そもそも、1都3県と石川県とでは、大きな格差があるが、この場合、重要なことは心がまえ船員において、その生活時間構成に大きな格差があることであろう。石川県船員は、その心がまえが余暇的行動となってあらわれず、仕事的行動として解消されている。

10. 一般国民男子との比較

(1) 最近の一般国民男子の生活時間の構成変化

N H K 放送世論調査所の「国民生活時間調査」によると、1970年から1975年にかけて、一般男子（20才以上）の生活時間構成の変化は、次の通りであった。平日においては、若干の仕事およびすいみん時間が減少し、それに応じてテレビ・ラジオ、休養、趣味・娯楽時間が増加している。日曜においては、仕事時間のかなりの減少とともに、テレビ・ラジオ、行楽・散策（移動を含む）、休養時間が増加している。その結果、今までにくらべ、平日と休日の格差は増大し、休日が休日らしい体裁をとのえるところとなった。

(2) 船員と一般国民男子の比較

船員および一般国民男子の1日当たりの生活時間構成は、表27～28の通りである。まず、1都3県船員と一般国民男子の休日について比較してみると、前者は後者にくらべすいみんおよび仕事時間が少ないが、それだけ子供の世話・相手、家事雑事・用たし、個人的つきあい時間が多くなっている他は、それほどの格差が認められない。また、1都3県船員の平日は一般国民男子の休日に、ひじょうに近い構成となっている。

つぎに、石川県船員と一般国民男子の休日に

ついて比較してみると、前者は後者にくらべ交際時間、休息・ごろね、子供の世話・相手時間が多く、いろいろな趣味・娯楽時間が少ない。すなわち、石川県船員の休日は、一般国民男子にくらべ休日らしい性格をもっていないことになる。しかし、石川県船員の平日は一般国民男子の平日にくらべ、家事・交際時間が多いことにおいて大きな格差がみられ、そこに休暇生活の特徴があるといえればいえよう。

一般国民男子の休日が休目的な性格を深め、逆に今回調査において石川県船員の休日が、その休目的性格をなくしたことは、一つの大きな変化であったといえる。

11. 若干の総括

最後に、「長期休暇」定着のもとでの休暇生活について、生活時間調査から若干の総括を行なっておこう。

第1回、休暇日数の増大とその定着のもとで、1都3県船員と石川県船員とでは、その変化は一様ではないが、それへの過渡期にみられたレジャー型・休養型の休暇生活から、最近においては家事型・学習型の休暇生活に、次第に移行しつつあるかに見える。

第2回、また、過渡期においては、年令別、曜日別、家族型別、調査時点別のちがいによって、生活行動や生活時間にかなりの相違がみられたが、最近においてはそれぞれの属性による相違を残しながらも、かなりの程度において平均化・類似化する傾向をみせている。

第3回、そして、過渡期においては、行楽・旅行、買物・外飲食といった金銭消費的な行動が多かったが、最近においてはそれが減少し、読書・学習、スポーツといったリクリエートな行動が増加したことにおいて、休暇生活の堅実

表25. 1都3県の意識別生活時間(週) -1978-

(時間・分)

| 意 識 別 | お 金 | 時 間 | 本人の心がまえ | 施設やサービス | そ の 他 |
|-----------|--------|--------|---------|---------|--------|
| 家 庭 内 外 | 計 | 計 | 計 | 計 | 計 |
| 生 理 | 76.59 | 80.25 | 75.57 | 78.54 | 82.23 |
| すいみん | 58.23 | 61.15 | 57.32 | 60.04 | 58.30 |
| 食事・身仕度 | 14.41 | 16.10 | 15.19 | 15.34 | 18.22 |
| 休息・ごろね | 1.45 | 2.00 | 2.08 | 1.26 | 3.47 |
| 通院治療 | 2.10 | 1.00 | .58 | 1.50 | 1.45 |
| 家 事 | 16.52 | 10.50 | 15.44 | 16.12 | 17.45 |
| 子供の世話・相手 | 4.39 | 2.05 | 3.53 | 2.32 | 3.17 |
| 家事雑事・用たし | 9.13 | 6.00 | 9.32 | 10.18 | 12.38 |
| 家屋の普請 | 3.00 | 2.45 | 2.19 | 3.22 | 1.49 |
| 仕 事 | 7.08 | 14.45 | 5.33 | 2.48 | 2.07 |
| 職業的仕事 | 6.29 | 9.35 | 4.04 | 2.44 | .47 |
| 内職的仕事 | .40 | 5.10 | 1.29 | .04 | 1.19 |
| 交 際 | 9.29 | 6.30 | 10.16 | 13.40 | 6.11 |
| 他家への手伝い | .45 | .00 | .03 | .00 | .13 |
| 個人的つきあい | 7.31 | 6.30 | 8.32 | 11.48 | 3.07 |
| 社会的つきあい | 1.10 | .00 | 1.41 | 1.52 | 2.52 |
| 休養・教養 | 41.02 | 34.50 | 40.04 | 40.44 | 40.49 |
| 家庭内の雑談 | 5.24 | 4.20 | 6.21 | 6.14 | 6.30 |
| テレビ・ラジオ | 23.02 | 15.10 | 19.41 | 21.02 | 19.47 |
| 新聞・雑誌 | 5.32 | 7.35 | 4.58 | 5.42 | 7.28 |
| 読書・学習 | 7.04 | 7.45 | 9.04 | 7.46 | 7.04 |
| 趣味・娯楽 | 16.16 | 20.20 | 20.03 | 15.38 | 18.25 |
| 散 歩 | .30 | .00 | 1.08 | 1.50 | .53 |
| 見物・鑑賞 | .17 | .00 | .56 | .54 | 1.28 |
| ス ポーツ | 3.46 | 4.50 | 3.50 | 3.04 | 4.04 |
| 勝負ごと | .54 | 1.15 | 1.44 | 1.18 | 1.23 |
| けいこ・趣味 | 1.17 | 4.20 | 1.23 | .40 | .17 |
| 日曜大工・庭いじり | 3.20 | 2.25 | 3.06 | 3.42 | 4.17 |
| 行楽・旅行 | 4.28 | .00 | 6.13 | 2.58 | 3.45 |
| 買物・外飲食 | 1.43 | 7.30 | 1.42 | 1.12 | 2.17 |
| そ の 他 | .00 | .00 | .00 | .00 | .00 |
| 不 明 | .14 | .20 | .24 | .04 | .19 |
| 合 計 | 168.00 | 188.00 | 168.00 | 168.00 | 168.00 |
| 正味家庭外時間 | 30.10 | 23.40 | 30.36 | 31.02 | 28.34 |
| 総 数 | 51 | 6 | 60 | 15 | 14 |

表26 石川県の意識別生活時間(週) -1978-

(時間・分)

| 意 識 別 | お 金 | 時 間 | 本人の心がまえ | 施設やサービス | そ の 他 |
|-----------|--------|--------|---------|---------|--------|
| 家 庭 内 外 | 計 | 計 | 計 | 計 | 計 |
| 生 理 | 85.19 | 74.00 | 81.10 | 81.49 | 81.30 |
| すいみん | 61.55 | 63.30 | 59.40 | 63.32 | 60.15 |
| 食事・身仕度 | 15.37 | 10.30 | 15.15 | 16.35 | 16.30 |
| 休息・ごろね | 5.25 | .00 | 4.20 | 1.11 | 2.15 |
| 通院治療 | 2.22 | .00 | 1.55 | .30 | 2.30 |
| 家 事 | 143.2 | 27.00 | 11.35 | 15.41 | 31.30 |
| 子供の世話・相手 | 3.13 | .00 | 3.55 | 4.58 | 13.30 |
| 家事雑事・用たし | 9.41 | 27.00 | 7.40 | 7.37 | 10.45 |
| 家屋の普請 | 1.38 | .00 | .00 | 3.07 | 7.15 |
| 仕 事 | 6.08 | .00 | 14.00 | 12.16 | 11.15 |
| 職業的仕事 | .16 | .00 | 7.50 | 1.23 | 11.15 |
| 内職的仕事 | 5.30 | .00 | 6.10 | 10.53 | .00 |
| 交 際 | 175.8 | 11.00 | 20.20 | 10.51 | 7.30 |
| 他家への手伝い | 2.02 | .00 | 8.00 | .41 | .00 |
| 個人的つきあい | 12.13 | 11.00 | 8.50 | 9.16 | 7.30 |
| 社会的つきあい | 3.44 | .00 | 3.30 | .53 | .00 |
| 休養・教養 | 37.47 | 56.00 | 33.25 | 40.58 | 33.45 |
| 家庭内の雑談 | 7.16 | 5.30 | 5.30 | 5.41 | 4.15 |
| テレビ・ラジオ | 25.11 | 48.00 | 24.40 | 25.25 | 25.45 |
| 新聞・雑誌 | 4.32 | 2.30 | 2.10 | 4.49 | 2.45 |
| 読書・學習 | .49 | .00 | 1.05 | 5.02 | 1.00 |
| 趣味・娯楽 | 6.16 | .00 | 7.30 | 6.25 | 2.30 |
| 散 歩 | .16 | .00 | .10 | .00 | .00 |
| 見物・鑑賞 | .14 | .00 | .00 | .00 | .00 |
| ス ポーツ | 1.16 | .00 | .00 | .28 | .00 |
| 勝負ごと | 1.37 | .00 | .50 | 1.23 | .00 |
| けいこ・趣味 | 1.02 | .00 | .10 | .11 | .00 |
| 日曜大工・庭いじり | 1.41 | .00 | 2.15 | .53 | .00 |
| 行楽・旅行 | .00 | .00 | 2.15 | 2.05 | .00 |
| 買物・外飲食 | .11 | .00 | 1.50 | 1.25 | 2.30 |
| そ の 他 | .00 | .00 | .00 | .00 | .00 |
| 不 明 | .00 | .00 | .00 | .00 | .00 |
| 合 計 | 168.00 | 168.00 | 168.00 | 168.00 | 168.00 |
| 正味家庭外時間 | 20.29 | 25.00 | 22.10 | 15.26 | 15.30 |
| 総 数 | 19 | 1 | 6 | 13 | 2 |

表27. 曜日別居住地別生活時間構成(1日当り) -1978-

(時間・分)

| 居 住 地 | 1 都 3 県 | | 石 川 県 | |
|-----------|---------|--------|--------|--------|
| 曜 日 别 | 休 日 | 平 日 | 休 日 | 平 日 |
| 生 理 | 1 0.59 | 1 1.04 | 1 1.39 | 1 1.54 |
| すいみん | .8.33 | .8.16 | .9.05 | .8.49 |
| 食事・身仕度 | 2.07 | 2.13 | 2.05 | 2.17 |
| 休息・ごろね | .13 | .19 | .28 | .31 |
| 通院治療 | .05 | .15 | .00 | .15 |
| 家 事 | 2.17 | 2.19 | 1.46 | 2.18 |
| 子供の世話・相手 | .39 | .31 | .44 | .35 |
| 家事雑事・用たし | 1.17 | 1.24 | 5.5 | 1.23 |
| 家屋の普請 | .20 | .23 | .07 | .19 |
| 仕 事 | .21 | .58 | 1.30 | 1.18 |
| 職業的仕事 | .11 | .49 | .25 | .18 |
| 内職的仕事 | .10 | .10 | 5.5 | .59 |
| 交 際 | 1.50 | 1.16 | 2.25 | 2.09 |
| 他家の手伝い | .00 | .03 | .15 | .20 |
| 個人的つきあい | 1.29 | 1.01 | 1.34 | 1.29 |
| 社会的つきあい | .20 | .11 | .35 | .19 |
| 休養・教養 | 5.39 | 5.47 | 6.00 | 5.23 |
| 家庭内の雑談 | .54 | .49 | 1.00 | .53 |
| テレビ・ラジオ | 3.12 | 2.54 | 4.12 | 3.35 |
| 新聞・雑誌 | .45 | .48 | .32 | .35 |
| 読書・学習 | .47 | 1.14 | .15 | .19 |
| 趣味・娯楽 | 2.49 | 2.31 | .37 | .55 |
| 散 歩 | .07 | .07 | .00 | .01 |
| 見物・鑑賞 | .14 | .04 | .06 | .00 |
| ス ポーツ | .30 | .33 | .00 | .07 |
| 勝負ごと | .09 | .12 | .12 | .10 |
| けいこ・趣味 | .07 | .12 | .00 | .05 |
| 日曜大工・庭いじり | .26 | .29 | .07 | .12 |
| 行楽・旅行 | 1.00 | .35 | .10 | .08 |
| 買物・外飲食 | .13 | .17 | .00 | .09 |
| そ の 他 | .00 | .00 | .00 | .00 |
| 不 明 | .02 | .02 | .00 | .00 |
| 合 計 | 2 4.00 | 2 4.00 | 2 4.00 | 2 4.00 |
| 総 数 | | | | |

表28. 1975年一般国民男子の曜日別生活時間構成

| 曜 日 别 | 平 日 | 土 曜 | 日 曜 |
|------------|------|------|------|
| すいみん | 8.06 | 8.10 | 9.03 |
| 食 事 | 1.29 | 1.30 | 1.32 |
| 身 のまわりの用事 | .58 | .55 | .53 |
| 仕 事 | 5.58 | 4.51 | 2.19 |
| 学 業 | 1.34 | 1.15 | .34 |
| 授業・学校の行事 | 1.01 | .45 | .03 |
| 課外活動・自宅学習 | .33 | .30 | .31 |
| 家 事 | .25 | .39 | 1.08 |
| 炊 事 | .02 | .03 | .03 |
| そ う じ | .02 | .03 | .05 |
| 洗 た く | .00 | .01 | .01 |
| 縫い物・編み物 | .00 | .00 | .00 |
| 実用品の買物 | .04 | .08 | .16 |
| 子どもの世話 | .03 | .05 | .05 |
| 家庭雑事 | .14 | .19 | .38 |
| 交 際 | .35 | .47 | 1.07 |
| 個人的つきあい | .24 | .34 | .48 |
| 社会的つきあい | .11 | .13 | .19 |
| 休 養 | .44 | .43 | .41 |
| くつろぎ・休息 | .39 | .38 | .38 |
| 病気・静養 | .05 | .06 | .03 |
| レジャー活動 | .42 | 1.08 | 2.15 |
| 見物・鑑賞 | .05 | .08 | .20 |
| ス ポ ーツ | .06 | .11 | .25 |
| 勝負ごと | .09 | .17 | .20 |
| 行楽・散策 | .06 | .12 | .41 |
| けいこごと・趣味 | .09 | .13 | .17 |
| 技能・資格の勉強 | .02 | .02 | .03 |
| 子どもの遊び | .04 | .06 | .09 |
| 移 動 | 1.00 | 1.01 | .38 |
| 通 勤 | .42 | .33 | .11 |
| 通 学 | .12 | .13 | .02 |
| そ の 他 | .06 | .15 | .26 |
| 新聞・雑誌・本 | .41 | .42 | .43 |
| 新 聞 | .26 | .25 | .23 |
| 雑誌・本 | .15 | .17 | .20 |
| ラ ジ オ(全) | .40 | .40 | .35 |
| ラ ジ オ(外) | .20 | .19 | .12 |
| ラ ジ オ(ながら) | .34 | .32 | .24 |
| テ レ ビ(全) | 2.51 | 3.23 | 4.07 |
| テ レ ビ(外) | .10 | .14 | .13 |
| テ レ ビ(ながら) | 1.00 | 1.04 | 1.08 |

資料：NHK放送世論調査所『昭和50年度国民生活時間調査』

さがみられるようになった。

第4回、そうしたことは1都3県船員において、特徴的といえることである。こうした変化は、1都3県部員が同職員の生活行動・生活時間に類似化したことによる。その結果、1都3県船員と石川県船員とのあいだの相違は、むしろ強まってしまっている。

第5回、従来から石川県船員の多くが、内職的仕事をもっていたが、最近においては1都3県船員が職業的仕事をもつたことにおいて、生活時間構成にかなりの変化がみられるようになった。こうしたことにおいて、長期の休暇生活に一定のタクトある生活をあたえつつあるかに見える。

第6回、したがって、「長期休暇」を生活のもとで、船員はただ漫然とした生活、費用のかかる生活を送っているとみなされがちであったが、今回の調査をみると、こうした状況は過渡的な生活としてかなり解消し、次第に意識的で堅実な生活を志向しはじめつつあるかに見える。

第7回、こうした船員の生活時間・生活行動調査は、2、3年おきに継続的に行なうことによりはじめて、その調査が生きてくることにつかんがみ、今後、早い機会に再調査が行なわれることを期待したい。

C 休暇中船員の生活行動とその社会的拡がり

どのような生活行動であれ、行動には、時間的、空間的、対人的拡がりを有し、また、頻度、動機、行動の認知という側面をもち合わせている。調査方法、費用、時間の限界から、今回は、時間的、空間的、対人的側面および頻度の側面

についてのみ検討してみた。なお、時間的側面はすでに前章で検討してあるので、他の側面と関連する場合にのみとりあつかう。

1. 参加率からみた生活行動

生活行動の諸側面のうち、それぞれの生活行動を1週間のうち1回以上行った人（行為者）の比率を参加率とすれば、各行動の参加率は表29のとおりである。

10人中9人が参加した行動には、「すいみん」、「食事・身仕度」といった生理的行動は全員参加の100%であることは当然であるが、これら生理的必需行動を除けば、「テレビ、ラジオ」、家庭内「雑談」、「新聞・雑誌」などである。次いで80%台では、家庭内「家事雑事」があがっている。

以上80%以上の参加率、つまり10人中8人までは参加している行動は、一都三県居住者、石川県居住者とも共通している。参加率80%以下の生活行動については、居住地により差が生じてくるので、居住地別に整理すれば次のようになる。なお（内、外）とは、家庭内、家庭外という行為の発生場所を示す。

以上にみるより、居住地により、各生活行動への参加の程度は若干異ってくる。一都三県居住者が石川県居住者に比べ目立つ生活行動としては、「読書・学習」、「スポーツ」、「買物・外飲食」、「旅行・行楽」、「職業的仕事」、「趣味ごと・けいこ」、「散歩」、「見物鑑賞」などで、これらの行動は、石川県居住者の2倍以上の参加率を示している。「職業的仕事」を除けば、これら一都三県居住者の特徴は、いわば余暇活動型の行動であることに注目されたい。次に石川県居住者の目立つ行動としては、「内職的仕事（内外）」、「社会的つきあい（外）」、

表 2.9 行為別 参加率と消費時間

| 行 為 | 指 標 | 行 為 者 人 數 | | 總 行 為 件 數 | | 總 消 費 時 間 | | 參 加 率 ※1 | | 行 為 者 一 人 當 り 消 費 時 間 ※2 | | 一 行 為 當 り 消 費 時 間 ※3 | |
|--------|----------|-----------------------|------------------|-----------------------|------------------|-----------------------|---------------------------|---------------------------|---------------------|---|-------------------------|---|----------------------|
| | | 居 住 地 | 一 都 三 県 | 石 川 県 | 一 都 三 県 | 石 川 県 | 時 分 | 時 分 | % | 時 分 | 時 分 | 時 分 | 時 分 |
| 生 理 | すいみん・外泊 | 内 外 | 146 5 | 41 1 | 1017 13 | 287 2 | 8681.30 59.00 | 2531.00 9.30 | 100.0 3.4 | 100.0 2.4 | 59.30 11.48 | 61.42 9.30 | 8.30 4.30 |
| | 食事・身仕度 | 内 外 | 146 8 | 41 1 | 991 11 | 287 1 | 2282.30 17.00 | 640.00 2.00 | 100.0 5.5 | 100.0 2.4 | 15.36 2.06 | 15.36 2.00 | 2.18 1.30 |
| | 休息・ごろね | (内) 内 外 | 90 4 | 29 2 | 205 11 | 90 3 | 310.00 16.30 | 149.00 12.00 | 61.6 2.7 | 70.7 4.9 | 3.24 4.06 | 5.06 6.00 | 1.30 1.30 |
| | 通院・治療 | 外 | 45 | 11 | 77 | 24 | 217.00 | 56.00 | 30.8 | 26.8 | 4.48 | 5.06 | 4.00 |
| 家 事 | 子供の世話・相手 | 内 外 | 65 36 | 22 4 | 210 78 | 80 6 | 424.30 147.30 | 153.30 21.30 | 44.5 24.7 | 53.7 9.8 | 6.30 4.06 | 7.00 5.24 | 1.54 1.54 |
| | 家事雑事・用たし | 内 外 | 117 93 | 36 21 | 381 256 | 112 57 | 836.00 624.00 | 277.00 97.00 | 80.1 63.7 | 87.8 51.2 | 7.06 6.42 | 7.42 4.36 | 2.30 2.24 |
| | 家屋の普請 | 内 外 | 43 5 | 11 0 | 78 8 | 19 0 | 339.00 53.00 | 85.00 0.00 | 29.5 3.4 | 26.8 0.0 | 7.54 10.36 | 7.42 0.00 | 4.18 6.36 |
| | 職業的仕事 | (外) 内 外 | 40 13 5 | 6 8 19 | 77 27 11 | 24 18 68 | 719.30 86.30 86.30 | 91.30 40.00 244.00 | 27.4 8.9 3.4 | 14.6 19.5 4.63 | 18.00 17.18 17.18 | 15.18 5.00 12.48 | 2.00 3.12 7.54 |
| 交 際 | 他家の手伝い | (外) 内 外 | 3 62 70 | 8 30 24 | 7 107 142 | 20 78 68 | 44.30 325.00 876.30 | 95.30 227.30 204.30 | 2.1 42.5 47.9 | 14.48 73.2 58.5 | 11.54 5.12 12.30 | 6.24 3.00 8.30 | 4.48 2.54 3.00 |
| | 個人的つきあい | 内 外 | 2 20 | 1 14 | 2 26 | 2 21 | 2 225.30 | 16.30 87.30 | 1.4 3.7 | 2.4 34.1 | 1.18 11.18 | 1.630 6.18 | 1.18 8.42 |

| 行 為 指 標 | 居住地、 行 為 者 人 數 | 總行 為 件 數 | | | 總消 費 時 間 | | | 參 加 率 ※1 | | | 行 為 者 一 人 當 り 消 費 時 間 ※2 | | |
|-----------------------|--|--|---|---------------------------------------|--|------|--|-------------------|---|------|--|------|--|
| | | 一都三県 | 石川県 | 一都三県 | 石川県 | 一都三県 | 石川県 | 一都三県 | 石川県 | 一都三県 | 石川県 | 一都三県 | 石川県 |
| 休 養 ・ 教 養 | 家庭内雑談 (内) テレビ・ラジオ (内) 新聞・雑誌 (内) 読書・学習 内 | 137 39 41 40 12 17 | 577 174 275 189 21 7 | 件 人 | 88.30 257.00 1052.30 167.30 36.30 262.00 | 時 分 | 93.8 9.66 100.0 9.25 71.9 11.6 | % | 95.1 6.30 22.12 254.2 6.06 2.4 | 時 分 | 6.36 6.30 22.12 254.2 6.06 1.42 | 時 分 | 1.30 1.30 3.56 3.56 1.06 0.54 |
| 休 養 ・ 教 養 | 散 歩 (内) 見物・鑑賞 (内) スポーツ (内) | 33 16 52 | 2 1 7 | 93 20 142 14 11 | 3 1 14 14 60.00 | 時 分 | 139.00 105.00 588.30 30.00 39.30 | % | 22.6 4.30 35.6 17.1 10.3 | 時 分 | 4.9 2.4 11.18 4.18 17.1 | 時 分 | 3.00 4.30 4.06 4.06 5.36 |
| 休 養 ・ 教 養 | 勝負ごと 趣味 ・ 娯 楽 | 内 外 内 外 内 外 庭 庭 旅 買 | 15 18 36 36 3 70 41 59 | 7 3 4 4 2 13 5 6 | 25 30 3 83 4 6 22 2 5 172 71 72 13 5 6 | 時 分 | 132.30 14.00 165.00 165.00 23.30 488.30 711.30 297.00 18.00 54.00 40.30 38.30 | % | 12.3 7.3 24.7 24.7 2.1 4.79 2.81 1.22 2.1 3.17 1.22 1.46 | 時 分 | 7.3 4.48 2.8 4.36 2.1 7.00 1.724 8.06 7.48 4.12 8.06 6.24 | 時 分 | 5.18 5.18 4.06 4.06 2.18 2.48 1.00 6.48 9.00 2.30 1.00 4.06 |

$$\text{※1 參加率} = \frac{\text{行為者人數}}{\text{對象者總數}} \times 100 \quad \text{※2 行為者一人当たり消費時間} = \frac{\text{總消費時間}}{\text{行為者人數}}$$

$$\text{※3 消費時間} = \frac{\text{總消費時間}}{\text{總行為件數}}$$

$$\begin{aligned} \text{一都三県} &= 146\text{人} \\ (\text{石川県}) &= 41\text{人} \end{aligned}$$

“他家への手伝い”、“個人的つき合い(内外)”、等であり、都市居住者の余暇活動型に対し、郡部居住者の“仕事・つき合い”型の典型となっている。こうした都市型と郡部型の生活行動の差は、まさに生活環境、生活意識の大きなギャップから生じていることはいうまでもない。またこうした傾向は先にみた生活時間構造の差となつてあらわれており、参加率は時間的側面との関連が深いことがわかる。

次に、長期休暇体制に入った1972年当時の比較からみてみよう。

一都三県居住者の生活行動のうち、参加率が増大したものは、“スポーツ”“子供の世話・相手(外)”、“通院、治療”などで、これらは10%以上の増加を示している。また、“家事、用たし(外)”、“内職的仕事”、“見物鑑賞”、“読書、学習”、“職業的仕事”なども5%以上の増加率を示している。逆に参加率が低下したものとしては、“買物、外飲食”、“外泊”、“休息、ごろ寝”、“個人的つき合い(外)”、“子供の世話、相手(内)”“家屋の普請、手入れ”などで10%以上の低下を示している。特に目立つ“買物、外飲食”“外泊”的低下は“旅行、行楽”的低下をも考え合せると、経済的条件の変化もあろうが、休暇生活の内容が“外”志向から“内”志向に変化してきていることも考えられよう。

一方石川県居住者の場合、10%以上の参加率が増大したものには、家庭内“内職的仕事”“家事、用たし(外)”、“職業的仕事”があり、目立っている。また、5%～10%増大したものには“家事雑事(内)”、“個人的つき合い(内)”、“勝負ごと(内)”などがある。逆に参加率が低下した生活行動についてみると、

“庭いじり、日曜大工”、“家屋の普請、手入れ”が20%以上の大巾を低下を示しており、また“個人的つき合い”、“通院”“趣味ごと、けいこ(内)”、“散歩”も10%前後低下している。このようにみると、石川県居住者の場合、長期休暇生活の定着にともない、非余暇的、拘束的“仕事”や“家事、用たし”が増え、概して余暇的行動が減少してきており、長期休暇生活が船員職業生活の一部というよりは、独立した生活領域としての位置づけが進行しつつあるように思われる。

なお、各生活行動の消費時間を、行為者(参加者)だけについて、また各行動の1回あたりについては、表29を参照されたい。

2. 生活行動の対人的拡がりについて

生活行動の多くは対人的接触を伴うものであるが、その拡がりについて検討する場合、同居家族を除いた非同居者との接触状況が意味をもってくる。表30は対人的接觸行動とその相手、接觸件数について整理したものである。

まず同居者以外にどんな人々と接觸をもつてゐるだろうか。表をみると、「友人、知人」がまずは抜けて多く、不明、その他を除く567人のうち239人とほぼ40%強を占める。次いで「親戚」(16%)、「兄弟」(13%)、「両親」(12%)、「近所の人」(10%)、「会社の人」(7%)となっている。ではこれら接觸した相手の機能はどうであろうか。それぞれの対性的接觸行動からみると、“家事”行動では「両親」のウエイトが最も高く、次いで「その他」となる。“仕事”的うち“職業的仕事”は当然ながら「会社の人」が全てであり“内職的仕事”では「両親」が7件中6件を占めている。“つき合い”行動の相手では、「友人、知

表30. 対人的行動とその相手※

単位、一週間当たり接触件数

| 対人の行動 居住地別※3 | 接觸相手 | | 両親 | | 兄弟 | | 親戚 | | 友人、知人 | | 近所の人 | | 会社の人 | | その他、不明 | | 計 | | 一週一入当たり件数 | | | |
|-----------------|------|------|------|------|------|------|-------|------|-------|------|------|-----|------|-----|--------|-------|-------|-------|-----------|-------|------|-----|
| | A | B | A | B | A | B | A | B | A | B | A | B | A | B | A | B | 78年 A | 78年 B | 72年 A | 72年 B | | |
| 家事 | ※1 | (15) | (5) | (2) | — | (1) | (1) | (2) | (1) | — | (2) | (2) | — | — | (11) | (3) | (33) | (12) | (45) | 23 | — | |
| 仕事(小計) | (6) | — | — | — | — | — | — | — | — | — | (17) | (1) | — | — | (23) | (1) | (24) | (1) | .16 | .10 | .02 | .08 |
| 職業的 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | 6 | 1 | — | — | 16 | 1 | 17 | — | — | — | — | — |
| 内職的 | 6 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | 1 | — | — | — | 7 | — | 7 | — | 7 | — | 7 | — |
| つきあい(小計) | (16) | (18) | (42) | (25) | (37) | (42) | (111) | (66) | (15) | (27) | (12) | (6) | (17) | (6) | (250) | (197) | (447) | 1.71 | 1.76 | 4.80 | 3.69 | — |
| 個人的 | 15 | 12 | 33 | 9 | 31 | 22 | 104 | 58 | 4 | 3 | 0 | 6 | 4 | 3 | 221 | 153 | 374 | — | — | — | — | — |
| 社会的 | — | 4 | 4 | — | 6 | 13 | 7 | 4 | — | 5 | 2 | — | 1 | — | 20 | 24 | 44 | — | — | — | — | — |
| その他 | 1 | 2 | 9 | 6 | — | 7 | — | 4 | 1 | 1 | — | — | 2 | — | 9 | 20 | 29 | — | — | — | — | — |
| 余暇 | (6) | (1) | (5) | — | (6) | (2) | (46) | (13) | (12) | (1) | (5) | — | (3) | — | (81) | (17) | (98) | .55 | .54 | .41 | .60 | — |
| スポーツ | 1 | — | 2 | — | — | — | 30 | 3 | 3 | — | — | — | — | — | 36 | 3 | 39 | — | — | — | — | — |
| 勝負 | — | — | — | — | — | 2 | 7 | 8 | 6 | 1 | — | — | — | — | 3 | 19 | 11 | 30 | — | — | — | — |
| 旅行 | 4 | — | 2 | — | 6 | — | 2 | 1 | 1 | — | — | — | — | — | — | 15 | 2 | 17 | — | — | — | — |
| 外食、買物 | — | — | 1 | — | — | — | 6 | 1 | — | — | — | — | — | — | — | 7 | 1 | 8 | — | — | — | — |
| その他 | 1 | 1 | — | — | — | — | 1 | 1 | 2 | — | — | — | — | — | 4 | 1 | 5 | — | — | — | — | — |
| 計 | 43 | 24 | 49 | 25 | 44 | 45 | 159 | 180 | 27 | 30 | 34 | 7 | 31 | 16 | 387 | 227 | 614 | — | — | — | — | — |
| 78年一入当たり件数 | 29 | .59 | .34 | .61 | .30 | 1.10 | 1.09 | 1.95 | .18 | .73 | .23 | .17 | .21 | .39 | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 72年一入当たり件数 | .31 | .56 | .39 | 1.23 | 25 | .52 | .39 | .37 | .14 | .38 | .30 | .19 | .10 | .27 | — | — | — | — | — | — | — | — |

※1 同居者を除く

※2 72年時点は資料なし

※3. A=一都三県居住者、B=石川県富来町居住者

人」が40%を占め圧倒的に多く、次いで「親戚」「兄弟」「近所の人」「両親」の順となる。『余暇活動』の相手では「友人、知人」が60%を占めだんぜん多く、次いで「近所の人」「親戚」「両親」「兄弟」の順となっている。

次に1週間1人あたり、どの程度対人的接触をもつかについてみると、一都三県居住者は2.65件であるのに対し、石川県居住者は5.54件と倍以上の接觸機會をもつこととなる。都市と郡部の対人的環境の差が、ここでも歴然とあらわれている。両居住者の1週間1人あたりの接觸件数からみると、接觸相手では「会社の人」を除き圧倒的に石川県居住者のほうが接觸件数が多い。特に「親戚」「近所の人」との接觸度合の差は3倍以上に達している。しかし、対人行動別にみると、一都三県居住者の『仕事』、『余暇活動』の接觸件数は石川県居住者より多い。逆に『つき合い』では、石川県居住者4.8件に対し、一都三県居住者は1.7件と大きな差があらわれている。つまり、石川県居住者の対人的環境は、血縁地縁に根ざした『つき合い』中心の環境であり、一方一都三県居住者のそれは、血縁、地縁が容易に期待できないために、家族内の自己充足が中心となり、それをはみだす部分として、つき合い、余暇活動が友人知人を中心に展開されていると考えられよう。

なお、1972年時点との比較では、一都三県居住者の場合2.39件から2.65件、石川県居住者の場合4.38件から5.54件へと接觸件数が増大している。但し、1972年調査では『家事』にともなう対人行動を除外しているので、その分を差し引いてみる必要がある。この意味では、一都三県居住者の場合、ほとんど差はない、つまり対人的拡がりは、ここ6ヶ年に

おいてあまり拡大されなかつたと考えられる。一方、石川県居住者の場合、『つき合い』は増えたが『余暇活動』での対人接觸はむしろ減少してきた。また接觸相手との関連でみると、一都三県居住者の場合、ほとんど変化がないが、石川県居住者では「兄弟」との接觸件数が半減し、「友人、知人」、「親戚」、「近所の人」との接觸件数が増大している。

以上にみるようて、長期休暇体制の定着にともない、生活行動の対人的拡がりは、居住地の対人的環境に強く規制されている。都市居住者の場合、本人自身が積極的に働きかけないかぎり、生活行動の対人的拡がりは拡大の方向には向かわないように思われ、依然として閉鎖的対人関係の枠に縛られる危険性もある。この意味では、地域社会への参加、趣味等を通しての友人、知人の拡大、また休暇中船員同志の連帯などが期待される。一方、石川県居住者の場合は、血縁、地縁という対人環境に恵まれているものの、この外枠の範囲内での『つき合い』中心の行動から一歩前進したより主体的な拡がりが期待される。

3. 生活行動の空間的拡がりについて

生活行動のうち、外出行動、つまり自宅外で発生する行動についてのみ、その空間的拡がりを検討した。行動の空間的拡がりは、家庭を基点として行先の最も遠い場所までの物理的距離から推測することは可能であるが、調査方法の限界もあり、1972年時点と同様、次のような行政区画に従がつた。

石川県富来町居住者

1. 富来町内（歩いてゆけるところ）
2. 隣接市町村（七尾、羽咋、門前、和倉）
3. 石川県県内（金沢市など）

- 4. 隣接県内（富山県、福井県）
 - 5. 隣接県外（富山県、福井県以外）
- 1都3県居住者
- 1. 町内区内（歩いていけるところ）
 - 2. 市、区内（交通機関を利用した場合）
 - 3. 都内、県内
 - 4. 関東地方
 - 5. 関東地方外

上記の空間区分に従がい、それぞれの外出行動をあてはめ、その行先を得点化（1点、2点……5点）し、平均得点をもって行動の平均距離とし、これを空間拡がり指数と見なした。表3.1は外出行動別にみた行先の頻度とその平均距離、一人当たりの発生件数を一表にまとめたものである。

外出行動を“生理”、“家事”、“仕事”、“つき合い”、“余暇活動”に大別して、その発生件数（一週間一人当たり外出回数）についてみると、一都三県居住者の場合、“余暇活動”が3.1件で最も多く、次いで“家事”2.3件、“つき合い”1.2件、“生理”、“仕事”0.6件の順となり、外出行動は計8.2件（回）生じたこととなる。一方石川県居住者の場合、“つき合い”“仕事”がそれぞれ2.7件、2.2件と多く、次いで“家事”1.5件、“余暇活動”1.0件、“生理”0.6件の順となり、一人一週間あたり8.2件（回）の外出行動をしたことになる。このように全外出回数は両者ともほぼ同じであるが、それぞれの外出行動の回数は異なつておらず、一都三県居住者の“余暇活動”“家事”が、また石川県居住者の“仕事（内職的仕事）”および“つき合い”がそれ相対的に目立つて多くなっている。

次に各外出行動の行先、つまり発生場所を拡

がり指数である平均距離得点からみると、居住地により大きく異なる。全外出行動の平均距離得点は一都三県2.73、石川県1.72となり、明らかに一都三県居住者の行動範囲が拡くなっている。特に“外泊”、“職業的仕事”、“社会的つき合い”、“行楽旅行”、“個人的つき合い”、“けいこ、趣味”等においてはその差が著しい。しかし、“子供の世話”、“自動車運転練習”、“買物、外飲食”といった行動では、逆に石川県居住者のほうがより大きな距離を示しており、また“散歩”、“通院”、“家事用たし”、“勝負ごと”などでは両者の行動に距離的差は生じていない。

各外出行動を発生場所（距離）と発生件（回数）との関連からみると、一都三県居住者の場合、“家事、用たし”はずば抜けて発生回数が多いが、その場所は平均距離得点1.89からみて、住んでいる区、市の周辺で発生している。“スポーツ”“個人的つき合い”も発生件数は共に高い（0.9）が、距離では明らかに“個人的つき合い”的方がより大きな拡がりをもっている。同様に、“外泊”は発生件数は少ないが、距離的には最も大きく、関東地方の外で発生していることがわかる。一方石川県居住者の場合、“内職的仕事”、“個人的つき合い”がとび抜けて高い（1.7）発生件数を示しているが、これらは比較的自宅から近い距離で発生している。距離的に大きな拡がりをもつ行動は“自動車運転練習”、“買物、外飲食”、“行楽、旅行”、“外泊”であるが、これらは平均距離得点でみると3.0となり、一都三県居住者の行動範囲からみれば、それほど高い拡がりをもっているとはいえない。

このように、外出行動のそれぞれを、距離と

表3.1 外出行動とその拡がり 但し A = 一都三県 居住者 146人
B = 石川県 居住者 41人

単位：一週間当たり外出件数

| 外出行動 | 居住地別 | 1. 近所 | | 2. 市区町内 | | 3. 都県内 | | 4. 隣接都県 | | 5. 隣接都県外 | | 合 計 | | 平均距離 | | ※1 | | 1人当たり件数※2 | |
|------------|-------|-------|-------|---------|------|--------|------|---------|------|----------|-------|-------|--------|--------|--------|--------|-------|-----------|---|
| | | A | B | A | B | A | B | A | B | A | B | A | B | A | B | A | B | A | B |
| 生理 (小計) | (36) | (4) | (36) | (21) | (9) | (7) | — | — | — | — | (88) | (25) | (1.85) | (1.84) | (0.60) | (0.61) | — | — | |
| 銭湯・散歩 | 11 | — | — | 1 | — | — | — | — | — | — | 11 | 1 | 1.00 | 200 | 0.07 | 0.02 | — | — | |
| 通院治療 | 25 | 4 | 36 | 20 | 9 | — | 7 | — | — | — | 77 | 24 | 1.97 | 183 | 0.53 | 0.59 | — | — | |
| 家事 (小計) | (144) | (9) | (144) | (45) | (17) | (9) | (12) | — | — | — | (342) | (63) | (1.74) | (200) | (2.34) | (1.53) | — | — | |
| 子供の相手・世話 | 43 | — | 32 | 4 | 2 | 2 | 1 | — | — | — | 78 | 6 | 1.50 | 233 | 0.53 | 0.15 | — | — | |
| 家事・用たし | 100 | 9 | 128 | 41 | 14 | 7 | 11 | — | — | — | 256 | 57 | 1.89 | 196 | 1.75 | 1.39 | — | — | |
| 土地さがし | 1 | — | 4 | — | 1 | — | — | — | 2 | — | 8 | — | 2.75 | — | 0.05 | — | — | — | |
| 仕事 (小計) | (6) | (78) | (19) | (7) | (28) | (4) | (28) | (1) | (7) | (2) | (88) | (92) | (3.13) | (1.28) | (0.60) | (0.60) | (224) | (224) | |
| 職業的仕事 | 17 | 19 | 1 | 23 | 4 | 28 | — | — | 7 | 2 | 77 | 24 | 3.30 | 171 | 0.53 | 0.59 | — | — | |
| 内職的仕事 | 6 | 61 | — | 6 | 5 | — | — | 1 | — | — | 11 | 88 | 1.91 | 113 | 0.07 | 1.66 | — | — | |
| つき合い (小計) | (22) | (42) | (57) | (54) | (42) | (8) | (31) | (5) | (23) | (5) | (175) | (109) | (2.86) | (1.78) | (1.20) | (1.20) | (266) | (266) | |
| 他家の手伝い | 2 | 12 | — | 5 | 5 | — | — | 3 | — | — | 7 | 20 | 2.43 | 170 | 0.05 | 0.49 | — | — | |
| 個人的つきあい | 17 | 23 | 52 | 39 | 33 | 6 | 25 | — | 15 | — | 142 | 68 | 2.78 | 175 | 0.97 | 1.66 | — | — | |
| 社会的つきあい | 3 | 7 | 5 | 10 | 4 | 2 | 6 | 2 | 8 | — | 26 | 21 | 3.42 | 195 | 0.18 | 0.51 | — | — | |
| 自動車運転練習 ※4 | (8) | — | (25) | — | (8) | (7) | (12) | — | — | — | (53) | (7) | (2.45) | (3.0) | (0.36) | (0.17) | — | — | |
| 余暇活動 (小計) | (173) | (21) | (107) | (6) | (60) | (12) | (50) | (1) | (57) | (1) | (447) | (40) | (2.35) | (1.80) | (3.06) | (1.00) | — | — | |
| 散歩 | 75 | 3 | 13 | — | 4 | — | 1 | — | — | — | 93 | 3 | 1.26 | 10 | 0.64 | 0.07 | — | — | |
| 見物・鑑賞 | — | — | 6 | 1 | 6 | — | 7 | — | 1 | — | 20 | 1 | 3.15 | 20 | 0.14 | 0.07 | — | — | |
| スポーツ | 81 | 13 | 34 | 1 | 11 | — | 7 | — | 9 | — | 142 | 14 | 1.80 | 11 | 0.97 | 0.34 | — | — | |
| 勝負ごと | 13 | — | 7 | 3 | 4 | — | 4 | — | 2 | — | 30 | 3 | 2.17 | 20 | 0.21 | 0.07 | — | — | |
| けいこ・趣味 | 1 | 5 | 4 | — | — | — | 1 | — | — | — | 6 | 5 | 2.17 | 10 | 0.04 | 0.12 | — | — | |
| 行楽・旅行 | — | — | 5 | 1 | 17 | 4 | 20 | 1 | 29 | — | 71 | 6 | 4.03 | 30 | 0.49 | 0.15 | — | — | |
| 買物・外飲食 | 3 | — | 38 | — | 18 | 6 | 10 | — | 3 | — | 72 | 6 | 2.65 | 30 | 0.49 | 0.15 | — | — | |
| 外泊 ※3 | — | — | — | — | — | 2 | — | — | 13 | — | 13 | 2 | 5.0 | 30 | 0.09 | 0.05 | — | — | |
| 計 | 389 | 154 | 408 | 133 | 164 | 40 | 140 | 7 | 92 | 2 | 1193 | 336 | 2.73 | 17.2 | 2.817 | 0.820 | ※3 | — | |

※1 それぞれの外出行動の全平均距離指数(近所を1点～隣接都県外を5点とした場合の平均得点)

※2 一人一週間あたり外出件数。

※3 外泊は生理的行動であるが、このほとんどが余暇活動の派生行動と解釈した。

※4 運転免許取得のため自動車学校に通り行動。

発生件数から位置づけて比較すると、両居住者間の外出行動の内容が異った様姿を示し、両者の生活環境の差がはつきりしてくる。各外出行動一週間1人あたりの発生件数、距離、さらに消費時間の軸を加えて検討し、それぞれについてみてみよう。

“家事”

家事には“子供の相手”“用たし”“土地さがし”の外出行動が含まれる。発生件数、消費時間ともに一都三県居住者のほうが大きいが、距離的には石川県居住者のほうがやや大きい。両者の差はあまりない行動となっている。

“仕事”

石川県居住者の最も大きな特徴となっている外出行動で、発生件数、消費時間ともに一都三県居住者のそれをはるかに超えている。しかし、距離的には、石川県居住者の場合“内職的仕事”がほとんどであるので自宅の近くで発生し、一方、一都三県居住者の場合、そのほとんどが、“職業的仕事”であり、その内容も本社出頭、研修受講が中心で距離的拡がりも大きくなっている。

“つき合い”

発生件数では石川県居住者が倍以上の頻度を示しているが、消費時間ではむしろ一都三県居住者のほうがやや多く、距離的差が消費時間に反映されている。石川県居住者にとって“仕事”とならび生活行動の重要な位置づけにあるといえる。

“通院”

通院行動は発生件数、消費時間、距離得点ともにほとんど居住地別の差はなく、同様な拡がり構造を示している。単独行動としては無視できない拡がりをもっている。

“自動車運転練習”

自動車免許取得のための行動であるので、余暇活動として取りあげるべきかも知れないが今回は独立した行動とみなした。発生件数、消費時間は少ないが、距離的には平均得点3点前後と中位の拡がりをもっている。居住別の差は若干あるが概して同様な拡がり構造となっている。

“余暇活動”

“散歩”、“見物鑑賞”、“スポーツ”、“勝負ごと”、“けいこごと、趣味”、“行楽旅行”、“買物外飲食”、“外泊”的7行動を含み、一都三県居住者にとって最も大きな行動的拡がりをもつ。一見してわかるように、一都三県居住者と石川県居住者とでは、生活行動に占める余暇活動のウエイトは質的に異なり、圧倒的差となってあらわれている。つまり一都三県居住者は石川県居住者に比べ、発生件数、消費時間において3倍、距離的拡がりでは1.3倍と構造的に異った拡がりの様姿を示している。なお、“余暇活動”的個々についてみると、“スポーツ”、“行楽、旅行”、“買物、外飲食”、“散歩”の一都三県居住者と石川県居住者の行動的拡がりの格差を見い出すことができる。

D 休暇生活についての意識・態度

生活時間構造、生活行動の拡がりについては前述のごとくであるが、ここでは、主として休暇生活の意識面について検討してみよう。

1. 個人的属性

職名、年令、家族構成等の個人的属性は前述の表2とほぼ同一である。

2. すまいと持物（表3-2.）

すまいについては、一都三県船員の場合、「持

家」82.7%、賃借等17.3%に対し、石川県船員は「持家」100%となっている。6年前の時点と比較すると、石川県船員は当時すでに100%となっており、変化がないが、一都三県船員の場合、72.5%から82.7%と10%ほど持家率が増加している。全国平均からみても船員の持家率はかなり高い。

持物を耐久消費財所有率からみると、一都三県船員と石川県船員では、ルームクーラー、ピアノ、ステレオ、テープレコーナー、百科辞典、電子レンジの所有率が一都三県船員により多く所有され、乗用車、オートバイは石川県船員の方がより多い。全国平均世帯と比較すると、ほぼ全ての耐久、消費財所有率は高い。6年前の

所有状況との変化で目立つのは、石川県船員の自家用車所有率で、実に7.9%から68.3%という急激な増大が注目される。この間一都三県船員の乗用車所有率は28.3%から47.7%と20%弱の増大で、この伸び率はほぼ全国民のそれと同じである。自家用車の所有は行動領域の拡大→行動の多様性に結びつくので、生活行動にも多分に影響を及ぼすことが予想される。このほか、耐久消費財所有率も6年前に比べおむね増大している。

以上すまいと耐久消費財の所有状況からみて、船員世帯の今後の“物”所有への関心は量から質への転換が予想され、全国平均世帯に一步先んじた“物”所有状況へ進むと思われる。

表32. すまいと持物の所有率

単位 %

| 対象(時差) | 全国 | | 都市 | | 石川県 | | 全国 | 都市 | | 石川県 | |
|-----------|-----------|------|------|--------|------|------|--------|--------|--------|--------|--------|
| | 1978※1 | 1978 | 1978 | 1972※2 | 1972 | 1972 | | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 |
| すまい | 持 家 | 68.4 | 82.7 | 100.0 | — | — | 72.5 | 72.5 | 72.5 | 100.0 | 100.0 |
| | 賃借、その他 | 31.6 | 17.3 | — | — | — | 27.5 | 27.5 | 27.5 | — | — |
| | カラ一TV | 97.7 | 99.3 | 100.0 | 61.1 | 61.1 | 82.6 | 82.6 | 82.6 | 85.7 | 85.7 |
| | ルームクーラー | 29.9 | 42.3 | 29.3 | 9.3 | 9.3 | 20.3 | 20.3 | 20.3 | 1.6 | 1.6 |
| | 乗 用 車 | 51.7 | 47.7 | 68.3 | 30.1 | 30.1 | 28.3 | 28.3 | 28.3 | 7.9 | 7.9 |
| | オートバイ | — | 21.5 | 56.1 | 23.3 | 23.3 | 4.3 | 4.3 | 4.3 | 22.2 | 22.2 |
| | ピ ア ノ | 14.9 | 38.9 | 14.6 | 9.6 | 9.6 | 44.9※3 | 44.9※3 | 44.9※3 | 19.0※3 | 19.0※3 |
| | ス テ レ オ | 56.3 | 73.8 | 53.7 | 40.4 | 40.4 | 62.3 | 62.3 | 62.3 | 46.0 | 46.0 |
| | テープレコーダー | 59.3 | 87.9 | 73.2 | 36.1 | 36.1 | 73.2 | 73.2 | 73.2 | 55.6 | 55.6 |
| | 百 科 辞 典 | — | 69.1 | 46.3 | — | — | 60.1 | 60.1 | 60.1 | 79.2 | 79.2 |
| 耐 久 消 費 財 | 電 話 | 88.9 | 98.7 | 97.6 | 62.3 | 62.3 | 92.0 | 92.0 | 92.0 | 9.4 | 9.4 |
| | 電 子 レ ン ジ | 27.3 | 26.2 | 19.5 | — | — | — | — | — | — | — |
| | ビデオカセット | 1.3 | 6.7 | 7.3 | — | — | — | — | — | — | — |

※1. 経済企画庁「消費者動向調査」 1978.3

※2. 経済企画庁「消費者動向予測調査」 1972.2

※3. オルガン含む

3. 休暇取得の理由

表3.3.からみると、今回の休暇取得にあたり特別の理由があった者は190人中48人で25.3%とほぼ4人に1人ということになる。6年前の時点では、この比率が35%程であったところをみると、当時に比べ休暇取得の発生と私事の関連が薄れてきたようだ。但し個人的理由の有無率からみて、石川県船員は36.6%が休暇と私事を結びつけており、一方一都三県船員のそれは22.1%と格差があらわれている。

具体的取得理由の記入のあった一都三県船員33人、石川県船員9人についてみると、全理由件数55件のうち、本人の病気・その治療及び歯の治療、家族の病気等が13件で最も多く、次いで家の普請にかかる家事的理由が10件、法事、結婚式への参加など交際行動の理由10件などが目立つ。一都三県船員と石川県船員の比較では、一都三県船員に家族の病気、妻の出産を理由にあげている件数が8件（石川県船員0件）と目立ち、核家族化した都市生活者の負担的一面があらわれている。

4. 計画した休暇中の生活行動

休暇を有意義に過すべく、予め計画した生活行動を自由記入の方式で応答を求め、まとめたものが表3.4.である。応答者149人の応答総数は288件で、そのうち趣味娯楽的行動が92件と最も多い。個々についてみると、旅行（42件）、家屋の手入れ（38件）、自動車免許の取得（18件）、英会話などの勉強（15件）、家業の手伝い（14件）、家屋の新築（13件）、ドライブ、ハイキング（13件）、講習、研修（12件）などが目立つ。今回の結果を6年前の1972年時点と比較すると、講習、研修、海技試験受験、英会話の勉強など仕事関連の生

活行動が急増し、またスポーツ、ドライブ、ハイキングも相対的に増えている。一方、帰省等の交際的行動（帰省、結婚式への参加、法事、訪問）は半減しており、また、趣味的行動のうち、旅行、庭へじりや家事的行動の家屋の手入れ等の生活行動の件数が減少している。

一都三県船員と石川県船員の比較では、何らかの計画を有している者の比率は前者が81%、後者が68%となっており、一都三県船員の方が休暇のすこし方について意識的であるようだ。また計画行動の一人当たりの件数からみても一都三県船員が2.0件であるのに対し、石川県船員は1.7件と少ない。計画された内容についてみると、一都三県船員で目立つものは、歯の治療、静養・保養、等の治療・療養行動、英会話の勉強、海技試験受験・講習研修、身体検査、等直接仕事にかかる仕事的行動、帰省、訪問等の交際的行動、スポーツ、ドライブ、ハイキング、旅行などの趣味的行動などである。一方石川県船員の計画的行動で目立つのは、家業の手伝い、家屋の手入れなどである。

以上にみると、休暇生活を計画的にすこしたいという意識は確かに都市生活者により強くあらわれており、その行動の拡がりも巾広いものであるが、これは都市の生活環境が長期の休暇生活を送るうえで、計画的、意識的であらざるをえないという環境であることも事実であろう。逆に考えれば、石川県船員の生活環境は長期休暇であっても、日常的なすべき“仕事”があり、都市生活者にとっては意識的、計画的に行動しなければならない交際的行動も日常化していると考えれば、あえて計画的である必要もなくなる。この意味では長期休暇のすこし方は、本人の生活に対する意識や心がまえ、家族

表33. 有給休暇取得理由の有無及びその内容

| 居 住 地 | 一 都 三 県 | 石 川 県 | 計 |
|-----------------|-----------|-----------|-----------|
| <休暇取得理由> | | | |
| 有り | 33人 (50人) | 15人 (22人) | 48人 (72人) |
| 無し | 116 (95) | 26 (36) | 142 (131) |
| ※()は72年度 無答 | 0 (0) | 0 (6) | 0 (6) |
| (計) | 149 (145) | 41 (64) | 190 (209) |
| <休暇取得の理由の内訳> | 件 | 件 | 件 |
| 「生 理」 | (10) | (3) | (13) |
| 本人の病気、治療、通院 | 2 | 1 | 3 |
| 本人の歯の治療 | 3 | 2 | 5 |
| 家族の病気 | 5 | — | 5 |
| 「家 事」 | (8) | (2) | (10) |
| 七五三 | 1 | — | 1 |
| 正月、クリスマス | 1 | — | 1 |
| 家の普請 | 3 | 2 | 5 |
| その他 | 3 | — | 3 |
| 「仕 事」 | (5) | (3) | (8) |
| 陸勤など社命 | 2 | 1 | 3 |
| 海技試験受験 | 2 | — | 2 |
| その他 | 1 | 2 | 3 |
| 「交 際」 | (8) | (2) | (10) |
| 帰 省 | 1 | — | 1 |
| 結婚式への参加 | 4 | — | 4 |
| 法 事 | 2 | 2 | 4 |
| その他 | 1 | — | 1 |
| 「休養・教養」 | (4) | (2) | (6) |
| 自動車免許取得 | 2 | 1 | 3 |
| その他 | 2 | 1 | 3 |
| 「そ の 他」 | (5) | (3) | (8) |
| 本人の見合い | 2 | 3 | 5 |
| 妻の出産 | 3 | — | 3 |
| 計 | 40件 | 15件 | 55件 |
| 記 入 者 数 | 33人 | 9人 | 42人 |

表34. 休暇中の計画的行動

単位:件

| 居住地 | 一都 | 三県 | 石川県 | 計 | | |
|------------|------|-------|------|-------|------|-------|
| 調査時点 | 78' | (72') | 78' | (72') | 78' | (72') |
| 生理的行動 | (23) | 20 | 1 | (8) | (24) | (28) |
| 歯の治療、その他通院 | 7 | 3 | 1 | 4 | 8 | 17 |
| 静養・保養 | 9 | 5 | — | 3 | 9 | 8 |
| 身体検査・健康診断 | 7 | 2 | — | 1 | 7 | 3 |
| 家事的行動 | (53) | (61) | (12) | (30) | (65) | (91) |
| 子供の相手・相談 | 6 | 2 | — | 1 | 6 | 3 |
| 土地・家屋の購入設計 | 2 | 9 | — | — | 2 | 9 |
| 家屋の新築 | 2 | 5 | 1 | 5 | 13 | 10 |
| 家屋の手入れ | 8 | 5 | 0 | 24 | 38 | 69 |
| その他 | 5 | — | 1 | — | 6 | — |
| 仕事的行動 | (28) | (4) | (11) | (13) | (39) | (17) |
| 家業の手伝い | 6 | — | 8 | 12 | 14 | 12 |
| 海技試験受験 | 0 | 1 | 1 | 1 | 11 | 2 |
| 講習会・研修会 | 1 | 3 | 1 | — | 12 | 3 |
| その他 | 1 | — | 1 | — | 2 | — |
| 交際的行動 | (21) | (53) | (2) | (7) | (23) | (60) |
| 帰省 | 4 | 8 | — | 1 | 4 | 19 |
| 結婚式への参加 | 5 | 9 | 1 | 4 | 6 | 13 |
| 法事(墓参) | 4 | 1 | 1 | 1 | 5 | 12 |
| 訪問 | 8 | 5 | — | 1 | 8 | 16 |
| 休養・教養的行動 | (37) | (13) | (3) | (2) | (40) | (15) |
| 自動車免許取得 | 6 | 3 | 2 | 2 | 18 | 15 |
| 英会話 | 4 | — | 1 | — | 15 | — |
| その他 | 7 | — | — | — | 7 | — |
| 趣味・娯楽的行動 | (76) | (93) | (16) | (31) | (92) | (124) |
| ゴルフ | 5 | 5 | — | — | 5 | 5 |
| 魚つり | 2 | 1 | 5 | 3 | 7 | 4 |
| その他スポーツ | 14 | 5 | 1 | — | 15 | 5 |
| ならいごと | 2 | 1 | — | — | 2 | 1 |
| 庭いじり | 6 | 20 | 2 | 5 | 8 | 25 |
| 日曜大工 | — | 5 | — | 9 | — | 4 |
| ドライブ・ハイキング | 12 | 3 | 1 | 2 | 13 | 5 |
| 旅行 | 35 | 53 | 7 | 12 | 42 | 65 |
| その他の | (2) | (4) | (3) | (1) | (5) | (5) |
| 本人の見合・結婚 | 2 | 4 | 3 | 1 | 5 | 5 |
| 計 | 240 | 248 | 48 | 92 | 288 | 340 |
| 記入者数(人) | 121 | 124 | 28 | 45 | 149 | 169 |

表35. 生活環境についての不満

単位：件

| 居住地 | 一都三県 | | 石川県 | | 計 | |
|-----------|------|-------|------|-------|------|-------|
| 調査時点 | 78' | (72') | 78' | (72') | 78' | (72') |
| 交通の不便 | (25) | 36 | (30) | (50) | (55) | (86) |
| 季節風が強い | — | — | — | (1) | — | (1) |
| 居住の環境 | (64) | 38 | (4) | (5) | (68) | (43) |
| 道路がわるい | 11 | — | 1 | 5 | 12 | 5 |
| 庭・土地がせまい | 25 | 18 | 3 | — | 28 | 18 |
| 騒音・振動 | 6 | 9 | — | — | 6 | 9 |
| 排気ガス | 4 | 9 | — | — | 4 | 9 |
| 日当りがわるい | 6 | 2 | — | — | 6 | 2 |
| 持家でない | 22 | — | — | — | 2 | — |
| 交際の環境 | (7) | (5) | (4) | (4) | (11) | (9) |
| 近所がうるさい | 2 | 3 | 1 | 2 | 3 | 5 |
| 交通費がかかる | 1 | — | 1 | 2 | 2 | 2 |
| 友人・知人が少ない | 4 | 2 | 2 | — | 6 | 2 |
| 家事の環境 | (21) | (27) | (3) | (11) | (24) | (38) |
| 物価が高い | 4 | 5 | 1 | 6 | 5 | 11 |
| 税金が高い | 3 | 3 | 1 | 1 | 4 | 4 |
| 教育施設がとぼしい | 4 | 3 | — | 2 | 4 | 5 |
| 子供の遊び場がない | 5 | 2 | — | 1 | 5 | 3 |
| 病院が少ない | 2 | 2 | — | 1 | 2 | 3 |
| 下水がない | 1 | 6 | — | — | 1 | 6 |
| 都市ガスがない | — | 3 | — | — | — | 3 |
| 買物が不便 | 2 | 3 | 1 | — | 3 | 3 |
| 余暇の環境 | (9) | (15) | (1) | (2) | (10) | (17) |
| スポーツ施設がない | 3 | 4 | 1 | 1 | 4 | 5 |
| 観光地が遠い | 2 | — | — | 1 | 2 | 1 |
| 自然が少ない | 4 | 11 | — | — | 4 | 11 |
| 計 | 126 | 121 | 42 | 73 | 168 | 194 |

からの要請といった個人的要因とともに生活環境そのものの要因が個人的要因以上により大きな影響力をもっているとも考えられよう。都市生活者と郡部生活者の休暇行動や意識の差は以降でみると、生活環境評価、休暇に対する意識、態度でよりはっきりしてくると思われる。

5. 生活環境についての不満

現在住んでいるところで、不便や不満に思うことを自由記入方式で応答を求め、整理したものが表35である。応答総件数168件、応答者は131人であった。一都三県船員についてみると、都市環境を反映して居住環境についての不満が半数を占める。そのなかでも、土地・庭がせまい、賃借住宅であるといった家そのものに対する不満が目立つ。また家事の環境も石川県船員に比べ目立って多い。一方、石川県船

員では、地理的条件が反映し、34人の応答者のうち30人が交通の不便を訴えている。

このように都市生活者と郡部生活者の居住環境に対する不満は、生活欲求の期待内容の差もあるが自然及び社会的環境そのものに規定され、このことは、前回調査結果とも全く同じである。

6. 望ましい乗船－休暇サイクル

何ヶ月乗船して何日の休暇が望ましいかという乗船－休暇サイクルについてみたものが表36である。乗船期間についてみると、6ヶ月が圧倒的に多く次いで8ヶ月となっている。また休暇日数では60日、90日が多く、乗船期間との関連でみれば、6ヶ月乗船60日休暇、8ヶ月乗船90日休暇という2つのサイクルタイプが目立っている。こうした傾向は、一都三県船員も石川県船員と同じ志向である。加重平均か

表36. 望ましい乗船月数に対する休暇日数の関連

一都三県船員

単位：人

| 日 数 | 月 数 | 希望乗船月数 | | | | | | | | | | | | 計 (人) |
|--------|----------|--------|---|---|----|---|----|---|----|----|----|------|--|----------|
| | | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | (NA) | | |
| 希望休暇日数 | ～30 | 3 | 1 | 1 | 1 | 1 | | | | | | | | 7 |
| | ～40 | 1 | | | | | | | | | | | | 1 |
| | ～50 | | 1 | | 4 | | | | 1 | | | | | 6 |
| | ～60 | | 4 | 4 | 30 | 1 | 11 | 3 | 5 | | 1 | | | 59 |
| | ～70 | | | | 4 | 1 | | | | | | | | 5 |
| | ～80 | | | | 4 | | 1 | | 1 | | | | | 6 |
| | ～90 | | | | 12 | 2 | 15 | 3 | 2 | | 2 | | | 36 |
| | ～100 | | | 1 | 3 | 1 | 4 | | 2 | | 1 | | | 12 |
| | ～110 | | | | | | | | | | | | | 0 |
| | ～120 | | | | | 2 | 9 | | 2 | | 1 | | | 14 |
| | 120～(NA) | | | | | 2 | 1 | | | | | | | 3 |
| 計(人) | | 4 | 6 | 6 | 60 | 9 | 41 | 6 | 13 | | 5 | | | 150人 |

平均希望乗船月数 = 7.1ヶ月

平均希望休暇日数 = 76.7日

石川県船員

単位：人

| 日数 | 月数 | 希望乗船月数 | | | | | | | | | | | 計 (人) |
|--------|------|--------|---|---|----|---|---|---|----|----|----|------|----------|
| | | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | (NA) | |
| 希望休暇日数 | ~30 | 1 | | | | | | | | | | | 1 |
| | ~40 | | | | 1 | | | | | | | | 1 |
| | ~50 | | | 1 | | | | | | | | | 1 |
| | ~60 | | 2 | 1 | 7 | | 1 | 1 | 2 | | | | 14 |
| | ~70 | | | | 2 | | 1 | | | | | | 3 |
| | ~80 | | | | 3 | | | | | | | | 3 |
| | ~90 | | | | 4 | 1 | 2 | 1 | 2 | | | 1 | 11 |
| | ~100 | | | | | | 2 | | | | | | 2 |
| | ~110 | | | | | | | | | | | | |
| | ~120 | | | | 1 | | 2 | | | | | | 3 |
| | 120~ | | | | | | 1 | | | | | | 1 |
| (NA) | | | | | | | | | 1 | | | | 1 |
| 計(人) | | 1 | 2 | 2 | 18 | 1 | 9 | 2 | 5 | | 1 | | 41人 |

平均希望乗船月数 = 7.0ヶ月

平均希望休暇日数 = 77.3日

らみを両船員の望む乗船月数、休暇日数でも、一都三県船員の場合、7.1ヶ月乗船—77日休暇、石川県船員の場合、7ヶ月乗船—77日休暇と全く一致している。

以上にみるよう、現在時点における船員の望む乗船—休暇サイクルは、6ヶ月乗船—60日休暇と8ヶ月乗船—90日休暇の2つのタイプがその代表といえそうであり、実態的にもこの傾向に合致しているようである。

7. 休暇生活充実のための不足条件

余暇生活が有意義に送れるための条件として、カネ、本人の心がまえ、時間、施設・サービスの4大条件が一般にあげられている。前回に引

き続き、この余暇条件のうち、何が最も不足しているかという問から、船員の余暇意識をさぐってみた。結果は表37にみるように、カネ38%、心がまえ35%、施設・サービス24%、時間3%となり、前回に比べ、施設・サービス、心がまえの不足を訴える者が増大し、カネ、時間に対する不足感が減少した。この背景には休暇日数の増大、収入のアップが考えられるが、これらの背景とともに、休暇そのものに対する意識に大きな変化が生じていることが推察される。つまり、長期休暇が定着し、この休暇生活が、かつての短期間休暇と質的に異った生活として受けとられ、船員職業生活における休暇生

表37 休暇充実のための不足条件

単位：%

| 居住地 | 一都三県 | 石川県 | 計 |
|----------|---------------|---------------|---------------|
| 調査時点 | 78' (72') | 78' (72') | 78' (72') |
| カネ | 36.0 (54.3) | 46.4 (72.5) | 38.2 (59.9) |
| 本人の心がまえ | 40.7 (30.7) | 14.6 (11.3) | 35.1 (24.8) |
| 時間 | 3.3 (11.4) | 2.4 (16.1) | 3.1 (12.9) |
| その他(施設等) | 20.0 (3.6) | 36.6 — | 23.6 (2.5) |
| 小計 | 100.0 (100.0) | 100.0 (100.0) | 100.0 (100.0) |
| 応答者数 | 150人 140人 | 41人 62人 | 191人 202人 |

活のウェイトが著しく高まってきたといえよう。

但し、一都三県船員と石川県船員とでは意識で大きな格差が生じている。一都三県船員では、本人の心がまえ41%、カネ36%、施設・サービス20%、時間3%であるのに対し、石川県船員は、それぞれ、15%、46%、37%、2%となっており、一都三県船員の“心がまえ”石川県船員の“カネ”、“施設・サービス”志向が顕著な差となってあらわれている。前項でみたように両船員の乗船－休暇サイクルの希望条件が同じであるところからみて、この差は、休暇生活の意味合いに対する認識や期待内容の差にあるようと思われる。また、若年層ほど“本人の心がまえ”を指摘する比率が多く、余暇の主体的問題が今後の課題としてクローズアップしていくことが予想される。

8. 休暇に関する問題と解決策

「休暇に関する問題のうち、何を最も優先的に解決すべきか」という自由記入方式による問の応答結果を整理したものが表38である。但し、石川県船員の応答数が少なかったので除外

し、一都三県船員についてのみ表示した。

件数からみると、“休暇の自由選択を可能にする”、“本人の心がまえ”（余暇活用能力）“休暇中の収入増”、“乗船期間の短縮・分割”が目立つ。これを6年前の結果と比較すると、“本人の心がまえ”が新たに加わり、長期休暇が外的条件だけで充されるものでないことが一般的に認識された証拠といえよう。また6年前に比し、格段と増加した休暇日数の増大、予備員率の増大を反映してか、“休暇日数の増加”、“休暇中断の禁止”といった問題点の指摘が激減している。以上をまとめてみれば、休暇に関する諸問題は、外的条件（休暇日数、休暇中の収入）にかかる諸問題もさることながら、長期休暇にともない、その有効活用能力、休暇時点の選択の自由性といった主体的問題がクローズアップしてきたといえる。このことは、これまで続けられてきた「休暇」に関する諸調査結果と一致するものであり、船員職業生活の評価、満足に直接にかかわり、今後の重要な課題となってくると思われる。

表3.8. 有給休暇に関する優先的に解決すべき問題

単位：件、%

| 解決すべき問題 | 1978 | 1972 |
|---------------|-------------|------------|
| 本人の心がまえ等主体的問題 | 17件 (21.3)% | 一件 — % |
| 休暇の自由選択 | 25 (31.3) | 17 (21.0) |
| 休暇中の収入増 | 16 (20.0) | 19 (23.5) |
| 休暇日数の増加 | 7 (8.8) | 24 (29.6) |
| 乗船期間の短縮、分割 | 12 (15.0) | 13 (16.0) |
| レジャー施設の充実 | 3 (3.7) | 3 (3.7) |
| 休暇中断の禁止 | — — | 5 (6.2) |
| 計 | 80件 (100)% | 81件 (100)% |

※ 但し、一都三県船員について

次に、以上にみた諸問題に対しその解決策、対処の方法を自由記入方式で応答を求めこれを整理してみた。

(1) 本人の心がまえ

つきあいを広める。積極的に趣味活動をする。ゼミや自己研鑽を通じて仕事以外にも目を向ける。計画的に生活をする。健康管理を積極的にする。家庭生活に積極的に参加する。会社の研修に参加する。

(2) 休暇の自由選択

船舶の標準化、配乗方法の改革。家族との生活計画を長期的にたてる。入員の確保、休暇の申告制度の確立、労使の話し合い。

(3) 休暇中の収入増

賃金制度の見直し（基本給のアップ、手当の一本化）。企業内努力。景気の回復。

(4) 休暇日数の増加

代償休暇を確実に消化する。乗船期間を6～8ヶ月に統一する。週休2日制の徹底。

(5) 乗船期間の短縮・分割

計画的配乗方法の採用。労働協約の改正による乗船期間の短縮化。短期乗船－短期休暇体制の確立。

(6) レジャー施設の充実など

海員組合による余暇活動の援助。事務局（センター）を設置し情報活動を積極的にする。

外的条件の問題解決は労使交渉、企業の経営姿勢に多分に依存せざるをえなく、また問題解決に時間がかかるが、“本人の心がまえ”については、あくまで個々人の主体にかかる領域であり、各人の環境（ライフサイクル、家族構成等）に対応した、生活志向、生活欲求に規定されよう。従って休暇生活を職業生活、ひいては人生における位置づけとしてどのように考えるかにより、問題のウェイトがかなり異つてくる。とはいっても、休暇時間量はかなりあり、無為に過しきれる時間量でないだけに、有効活用能力の開発、そのための援助システムが是非とも必要であるように思われる。この意味では49年度「船員福祉に関する調査」報告書で提唱し

た“船員余暇センター”構想は、今日、今後の休暇生活充実化にとって重要な機能を果しうるし、またその設立が望まれる。

9. まとめてかえて

休暇のすこし方や休暇に対する意識は、'72年時点に比べ確かに変わりつつある。今日の休暇日数からみても、休暇はかつてのような再生産機能として位置づけるには量的にあまりにも大きな単位であり、この量的増大は休暇生活の機能に質的転換をもたらしつつあるように見受けられる。つまり3.4ヶ月の休暇期間は、次なる労働のための再生産課程というのではなく、

労働から独立したまとまりをもった生活単位、ひいては人生の主要な一部に位置づけられ、職業生活の質を規定する要因にクローズアップしてきたかにみえる。

こうした認識は必ずしも全ての船員がそのよう感じているというわけではないが、すう勢として否定しがたいようである。

(昭和53年度「船員福祉の理念とその具体策に関する調査研究」(担当者 篠原陽一、小石泰道、青木修次、服部 昭、広田弥生)のうち、第III編の要約である。)